SONY

2-159-479-**01** (1)

はじめに お読みください

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」**をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

操作時の疑問については、クリエ本体の中にある「CLIE FAQ」もあわせてご覧ください。

パーソナルエンターテインメントオーガナイザー

PEG-VZ90

本機には以下のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

はじめにお読みください（取扱説明書）（この冊子）

クリエ本体とパソコンの準備、基本的な操作を説明しています。

必ず別冊の「安全のために」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。

インターネット接続ガイド

インターネットに接続するための準備やアプリケーションの使いかたを説明しています。

パソコンで見るマニュアル

これらのマニュアルは、パソコンと連携して使うための準備を行うと、パソコンに自動的にインストールされます。

➡ **各マニュアルの見かたについて詳しくは、**「パソコンで見るマニュアルを使う」（58 ページ）をご覧ください。

クリエ読本（PDF 形式 *）

クリエの基本的な操作方法、便利な機能や使いこなしかたを説明しています。

クリエ アプリケーションマニュアル（HTML 形式 **）

付属アプリケーションの使いかたを、アプリケーション名と目的の両方から探して詳しく知ることができます。

* 「Adobe Reader」ソフトウェアで見ることができます。お使いのパソコンに「Adobe Reader」ソフトウェアがインストールされていない場合は、付属のインストール CD-ROM からインストールすることができます。

** インターネットブラウザで見ることができます。

操作時の疑問点は

CLIE FAQ

クリエ本体に内蔵されている「CLIE FAQ」で、操作上のアドバイスを見ることができます。

目次

次のページにつづく

取扱説明書についてのご注意

- 付属のソフトウェアは、この冊子の画面と一部異なる場合があります。
- 本文中の一部の画面では、背景色を黒から白に変更しています。
- この冊子は、お客様が Windows の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

有機 EL ディスプレイについて

- 車内など直射日光が当たり温度が上がる場所や、熱器具の近くに本機を長時間放置しないでください。
- 画面に同じ画像の表示が続くと、部分的に焼き付きが発生することがあります。これは有機 EL ディスプレイの特性上起こる現象であり、以下の A から C の操作を行うことにより焼き付きを軽減できます。

A. 同じ画像を長時間表示しない

静止画や動画を一時停止した状態や、何も操作しない状態で同じアプリケーションを表示し続けるなど、全く同じ画像を長時間表示し続けないでください。

B. こまめに画面を消す

使用しない時はこまめに電源を OFF したり、画面からの操作が不要な時には HOLD 状態にして画面表示を消すことをおすすめします。

C. 明るさを調整する

必要以上に画面の明るさを上げないようにすることをおすすめします。画面の明るさは「明るさの調整」画面(113 ページ)で変更することができます。

- 有機 EL ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素等があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、有機 EL ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
  交換、返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 有機 EL ディスプレイを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 車内など直射日光が当たり温度が上がる場所や、熱器具の近くに本機を長時間放置すると、画面の明るさが不均一になり、むらが見えることがあります。この状態は、本機を平温の使用環境に戻すと数時間で解消されます。万一、この処置を行っても状態が解消されない場合には、やわらかい布などで画面を拭いていただくと、状態を改善させることができます。
- 画面にシートを貼られる場合、ヘラでしごくなど、強い圧力を加えないでください。ペン入力を感知しなくなったり、干渉模様が発生する恐れがあります。もし症状が発生した場合には、シートをはがし、1 日放置してください。症状が改善される場合があります。
  ※シートの貼りかたについては、下記をご参照ください。
  http://www.nccl.sony.co.jp/products/common/info28.html

著作権について

あなたが本機で記録したもの、および本機で利用、再生するために記録、制作されたものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、記録を制限している場合がありますのでご注意ください。

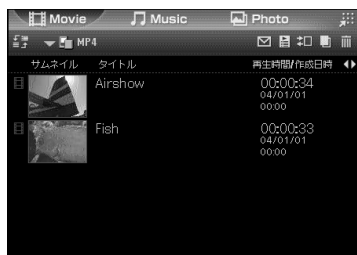
本機でできること

クリエは、Palm OS を搭載しており、電子手帳機能など多彩な用途にお使いいただけます。
ここでは、本機で主にできることを紹介します。

動画／音楽／静止画を再生する

「Media Launcher（メディア ランチャー）」を使って、パソコンなどから取り込んだ動画／音楽／静止画のファイルを再生することができます。

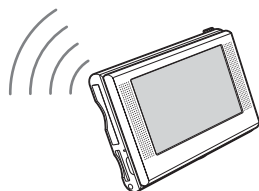
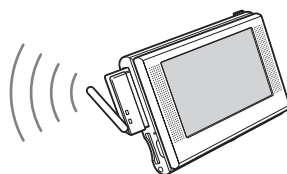
➡**詳しくは、**「使ってみよう：動画／音楽／静止画を再生する」（43 ページ）をご覧ください。

Media Launcher Movie

ネットワークに接続する

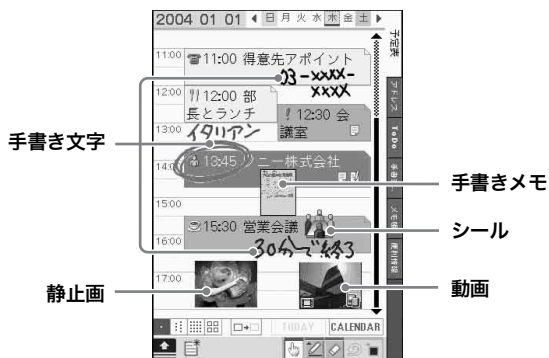
本機に内蔵のワイヤレス LAN 機能または別売りの CF 通信カード * を使って、ワイヤレスに電子メールやインターネットを楽しむことができます。

➡**詳しくは、**別冊「インターネット接続ガイド」をご覧ください。

* 本機に対応の CF 通信カードは、AirH″ カード「AH-S405C」（セイコーインスツルメンツ株式会社製）のみです。（2004 年 9 月現在）

内蔵のワイヤレス LAN 機能

CF 通信カード

電子手帳として使う

予定表、住所、To Do、メモなどの個人情報を管理することができます。
クリエ独自の電子手帳アプリケーション「CLIE Organizer（クリエ オーガナイザー）」を使えば、紙の手帳感覚で手書き入力をしたり、予定表にメモや画像を貼ったりすることも可能です。
また、クリエとパソコンでデータを同期することで、パソコン上でデータを管理することもできます。
➡**詳しくは、**「使ってみよう：電子手帳として使う」（46 ページ）をご覧ください。

CLIE Organizer **「予定表」**

その他

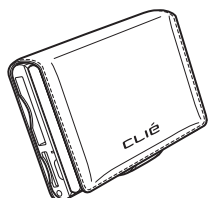
本機には、多数のアプリケーションを付属しております。
➡**付属アプリケーションのリストについては**
「付属アプリケーションのご紹介」（53 ページ）をご覧ください。
➡**付属アプリケーションの操作方法については**
パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

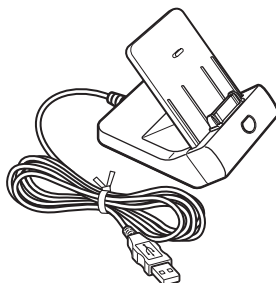
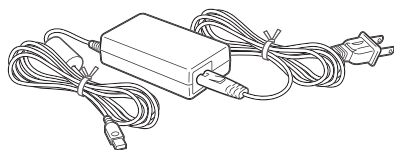
準備する

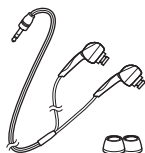
この章では、お買い上げ後の箱の中身の確認や、充電や初期設定のしかた、パソコンと連携するための準備について説明します。

箱の中身を確認する

まずはじめに、箱の中身を確認しましょう。

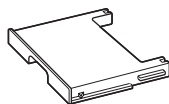
●本体（1 台）

本文中の一部のイラストでは
キャリングケースを省略しています。

●クレードル（1 台）

●AC パワーアダプター
（1 式：AC コード含む）

●オーディオリモコン（1 式）

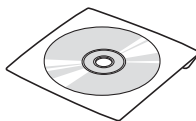
●密閉型インナーイヤーヘッドホン
（1 式：イヤーピース M サイズ付き）

●イヤーピース（S、L サイズ各 2 個）

●スタイラス(1本)

お買い上げ時は本体に取り付けてあります。

●ダミーカード(1枚)

お買い上げ時は本体に取り付けてあります。

●プラグアダプター(1個)

●インストール CD-ROM(1枚)

●ハンドストラップ(1個)

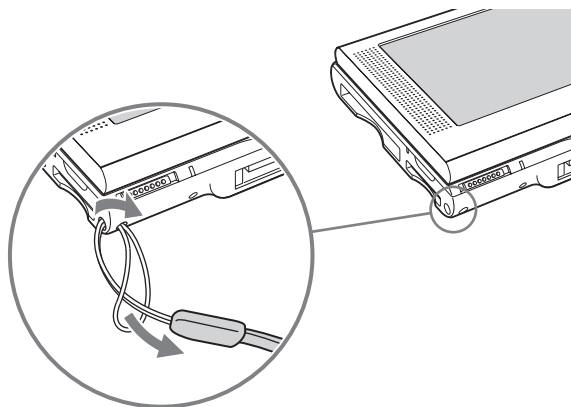
取り付けかたは次ページをご覧ください。

●はじめにお読みください ― 取扱説明書(1冊、この冊子)
●インターネット接続ガイド(1冊)
●安全のために(1枚)
●カスタマー登録のご案内(1枚)
●カスタマー登録はがき(保証書)
●ソフトウェア使用許諾書(1枚)
●クリエ サービス・サポートのご案内(1枚)
●クリエカルテ(1部)
●その他印刷物一式

万一、不足しているものがありましたら、ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)またはお買い上げ店にご相談ください。

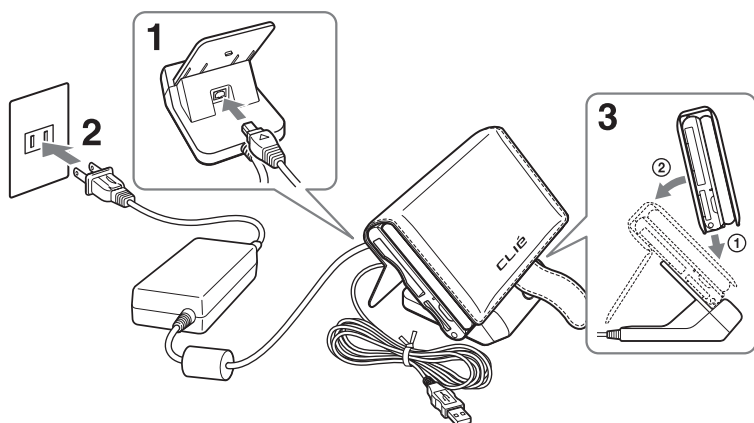
次のページにつづく

落下防止のため、ハンドストラップを使用しましょう。

ハンドストラップの取り付けかた

クリエを準備する

クリエを使用する前に、次の準備を行います。

❶ クリエを充電する

本機をはじめて使うときは、必ず充電してください。

1 **ACパワーアダプターをクレードルのACパワーアダプター接続コネクタにつなぐ。**

2 **ACパワーアダプターのプラグをコンセントにつなぐ。**

3 **図のように、キャリングケースの後ろ側の生地を折り返し、本機を斜めに入れて倒すようにして、クレードルに取り付ける。**

本体のPOWER LEDが点灯して、充電が始まります。

初回の充電は約5時間で終了します。
充電が終わると、本体のPOWER LEDが消灯します。

ご注意

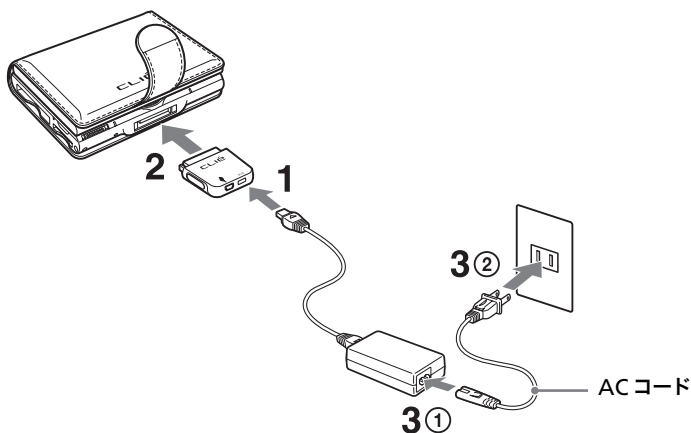
充電をしないで放置し、バッテリの残量がなくなると、お買い上げ後に本機に記録したデータは消去されます。

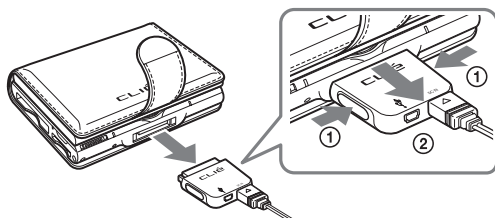
次のページにつづく

クレードルを使わずに充電するには

プラグアダプターを使用すると、クレードルを使わずに本機を充電することができます。

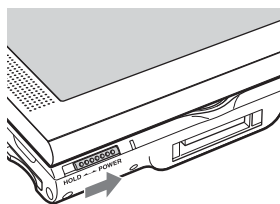
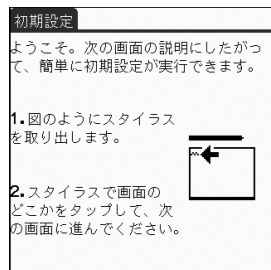
プラグアダプターを取り付ける

はじめに AC パワーアダプターをプラグアダプターの DC IN コネクタにつなぎ（1）、次にプラグアダプターを本機のインターフェースコネクタへつないでください（2）。
次に AC コードを AC パワーアダプターにつなぎ（3①）、AC コードのプラグをコンセントにつないでください（3②）。

プラグアダプターの取りはずしかた

プラグアダプターの両わき（①）を押し込みながら取りはずします（②）。

❷ 電源を入れて初期設定を行う

クリエの電源を入れて、操作をする前に必要な初期設定を行います。
初期設定を行いながら、クリエの操作に慣れていきましょう。

1 POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる。

電源が入り、「初期設定」画面が表示されます。

POWER/HOLD スイッチをスライドさせる

ご注意

POWER/HOLD スイッチを 2 秒以上 POWER 方向にスライドさせると、画面の減光モードの入／切スイッチとして機能します。（103 ページ）

ヒント

電源が入らない場合は

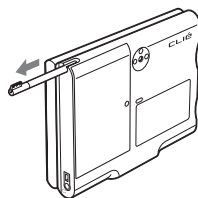
- 11 ページの手順に従ってクリエを充電しましたか？
  ➡ **詳しくは、**「よくあるお問い合わせと解決方法：電源が入らない」（71 ページ）をご覧ください。
- 充電しても電源が入らないときは、ソフトリセット（64 ページ）を行ってください。

2 スタイラスを取り出す。

文字を入力したり、実行したいアプリケーションを指定したりするには、付属の**スタイラス**を使います。

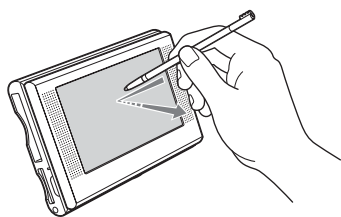
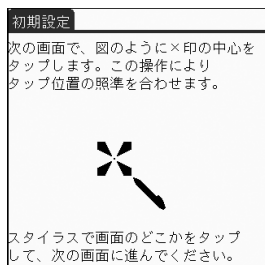
スタイラスを取り出す

準備する

次のページにつづく

ご注意

- 付属のスタイラス以外のものを使うと、クリエの画面を傷つけてしまうことがあります。
- スタイラスを本体に取り付けるときは、奥までしっかり差し込んでください。

3 スタイラスで画面を軽く押す。

この操作を**タップする**と言います。
タップした場所のずれを補正するための、「初期設定」画面が表示されます。

画面を軽く押す
（タップする）

4 画面の指示に従って、表示されたマークの中心を正確にタップする。

引き続いて、画面の右下と画面の中央の調整も行います。

ご注意

正確に調整しないと、うまく操作できない原因となります。あとから調整をやり直したいときは、パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：入力位置を調整する（デジタイザ調整）」をご覧ください。

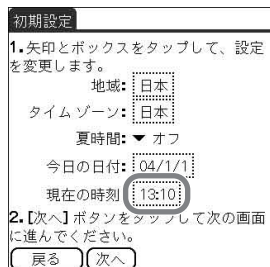
調整が終わると、日時の設定画面が表示されます。

5 [現在の時刻]の枠で囲まれている部分をタップする。

「時刻の設定」画面が表示されます。

ヒント

あとで再び日付や時刻を変更したい場合は「環境設定」から設定します。

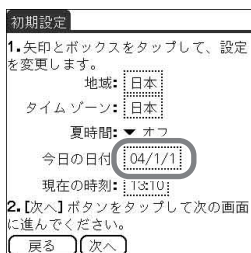
➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：日付／時刻を合わせる」をご覧ください。

6 ▲または▼をタップして、現在の時刻に合わせる。

それぞれの枠をタップして、時間と分表示を合わせます。

7 [OK]をタップする。

時計が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

8 [今日の日付]の枠で囲まれている部分をタップする。

「日付の設定」画面が表示されます。

9 一番上の西暦の横の◀または▶をタップして、西暦を合わせる。

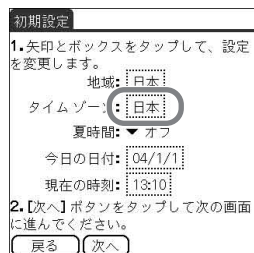
10 現在の月をタップしてから、現在の日付をタップする。

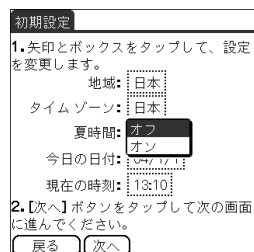
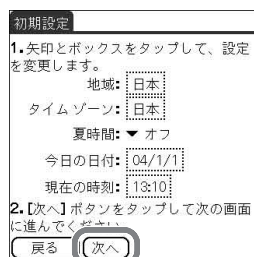
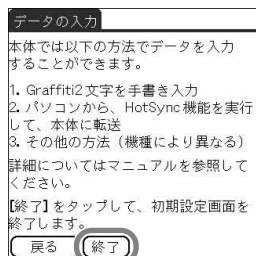
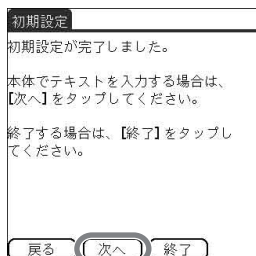
日付が正しく設定され、日時の設定画面に戻ります。

準備する

次のページにつづく

11 [タイム ゾーン]の枠で囲まれている部分をタップする。

「タイム ゾーンの設定」画面が表示されます。

12 地域名をタップしてタイム ゾーンを選び、[OK]をタップする。

13 [夏時間]の横の▼をタップして、[オン]または[オフ]を選ぶ。

14 [次へ]をタップする。

15 [次へ]をタップして、[終了]をタップする。

初期設定が終了し、ホーム画面が表示されます。

ヒント

ホーム画面とは

本機の電源を入れ、ホーム アイコンをタップして表示される画面をホーム画面と言います。

➡ **ホーム画面について詳しくは、**「アプリケーションを起動する：Media Launcher（ホーム画面）を表示する」（29 ページ）をご覧ください。

これで初期設定が終わりました。

パソコンと一緒に使えるようにする

クリエとパソコンでデータをやりとりしたり、住所録などの情報をパソコンの画面で入力するには、付属のインストール CD-ROM に入っているソフトウェアをお使いのパソコンにインストールする必要があります。
以下の 2 つのソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

- CLIE Palm Desktop
- CLIE Organizer for PC

CLIE Palm Desktop ソフトウェアのインストールが完了すると、パソコンで見るマニュアル「クリエ マニュアル」も同時にパソコンにインストールされます。

➡ **パソコンに必要なシステム構成について詳しくは、**「パソコンに必要なシステム構成」(99 ページ)をご覧ください。
➡ **「クリエ マニュアル」について詳しくは、**「パソコンで見るマニュアルを使う」(58 ページ)をご覧ください。

付属のソフトウェアをインストールする前に

インストールする前に本機をパソコンにつながないでください。
正しくインストールできない場合があります。

ご注意

- パソコンで付属のインストール CD-ROM の内容を直接開いて、「CLIEOrganizerforPC」フォルダや「PalmDesktop」フォルダをパソコンにコピーしないでください。必ずこの冊子の手順に従って、インストールしてください。
- Windows 2000 Professional または Windows XP をお使いの場合、コンピュータの管理者(Administrator)権限のユーザー(アカウント)でログオンしてからインストールを行ってください。
  この際のユーザー(アカウント)名は、半角英数字をご使用ください。
- **すでに別のクリエをお使いの場合は**
  すでに別のクリエをお使いの場合、**お使いの CLIE Palm Desktop ソフトウェアを削除(アンインストール)せずに**次ページの手順で新しい CLIE Palm Desktop ソフトウェアで上書きしてください。
  * 一部の機種によっては、対応方法が異なります。お使いの機種の対応方法については、裏表紙に記載のネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。

ヒント

新しいCLIE Palm Desktopソフトウェアで上書きしても、すでにお使いのCLIE Palm Desktopソフトウェアに保存されている予定表や住所などのデータは消去されません。

❶ CLIE Palm Desktop ソフトウェアをインストールする

CLIE Palm Desktop ソフトウェアとは、クリエとパソコンでデータをやりとりしたり、クリエのデータをパソコンにバックアップするために必要な、Palm OS 搭載機器に標準で付属しているソフトウェアです。
CLIE Organizer for PC ソフトウェア（23 ページ）をインストールする前に、必ずインストールしてください。

1 パソコンで起動している、すべてのソフトウェアを終了する。

2 パソコンの CD-ROM ドライブに、付属のインストール CD-ROM を入れる。

しばらくすると、パソコンに「インストール CD-ROM」画面が表示されます。

3 [次へ]または[クリエ基本ソフトウェア]をクリックしたあと、[CLIE Palm Desktop]の[インストール]をクリックする。

しばらくすると、「CLIE Palm Desktop 用の InstallShield ウィザードへようこそ」画面が表示されます。

ご注意

パソコンに、古いバージョンの CLIE Palm Desktop ソフトウェアがインストールされている場合は、ダイアログボックスが表示されます。そのダイアログボックスの指示に従って、本機に付属の CLIE Palm Desktop ソフトウェアをインストールしてください。

4 [次へ]をクリックする。

「セットアップ タイプ」画面が表示されます。

5 セットアップ タイプを選ぶ。

セットアップ タイプには[すべて]と[カスタム]があります。[カスタム]を選ぶと、インストールするソフトウェアとインストール先を指定する必要があります。
以下に、セットアップ タイプで[すべて]を選んだ場合について説明します。

次のページにつづく

6 [次へ]をクリックする。

「ユーザ アカウントの作成」画面が表示されます。

7 ユーザー名を入力して、[次へ]をクリックする。

ユーザー名とは、クリエの使用者名のことです。好みの名前を入力してください。
ユーザー名を入力すると、「プログラムを変更する準備ができました」画面が表示されます。

ご注意

- ユーザー名は半角英数字を推奨します。
- **すでに別のクリエをお使いの場合は**
  別のクリエで使用しているユーザー名とは違うものを入力してください。同じユーザー名にすると、不具合が起こることがあります。

8 [インストール]をクリックする。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアのインストールが始まります。
インストールが完了すると、「InstallShield ウィザードを完了しました」画面が表示されます。

ヒント

オンラインカスタマー登録を行わない場合は、[カスタマー登録をする。]の ☑ をクリックして □ にしてください。

9 [完了]をクリックする。

「CLIE ＜クリエ＞オンラインカスタマー登録のご案内」画面が表示されます。

これでパソコンへの CLIE Palm Desktop ソフトウェアのインストールが終わりました。
オンラインカスタマー登録を行う場合は、次ページの「❷ 画面に従ってカスタマー登録をする」をご覧ください。

ヒント

インストールの途中で操作ができなくなったら
パソコンの[Alt]キーを押しながら[tab]キーを、何度か押してみてください。
インストールの操作中にパソコンの画面上の「インストール CD-ROM」画面などをクリックすると、インストール操作の画面が「インストール CD-ROM」画面の背後に隠れてしまい、インストールの操作ができなくなることがあります。このときは上記の操作をすることで、インストール操作の画面を再び前面に出すことができます。

❷ 画面に従って カスタマー登録をする

画面の指示に従って、カスタマー登録を行います。
カスタマー登録が終了したら、「CLIE <クリエ> オンラインカスタマー登録」画面を閉じると、「HotSync の動作確認」画面が表示されます。

ご注意

- オンラインカスタマー登録には、インターネットへの接続環境が必要です。
- あらたに別のクリエをお買い上げいただいたときにも、もう 1 度カスタマー登録を行っていただく必要があります。

ヒント

あとでカスタマー登録をするときは

ブラウザ画面右上の ☒ をクリックしてカスタマー登録画面を閉じてください。

カスタマー登録とは

ソニーへクリエの正規ユーザーとして登録することです。
登録をすると、最新のプログラムのダウンロードなど、登録カスタマー専用の各種サービスが受けられます。

➡ **サービスの内容について詳しくは、**クリエのホームページ（http://www.sony.co.jp/CLIE/）をご覧ください。

修理や使いかたのお問い合わせなど、ネットコミュニケーションカスタマーリンク（クリエ専用サポートセンター）をご利用になるには、必ずお客様の「お客様サポート番号（16 桁）」、「カスタマーID（13 桁）」のいずれかが必要になります。
また、クリエに付属の保証書での保証期間はお買い上げ日から 3 か月ですが、カスタマー登録をすると保証期間が 1 年間となります。

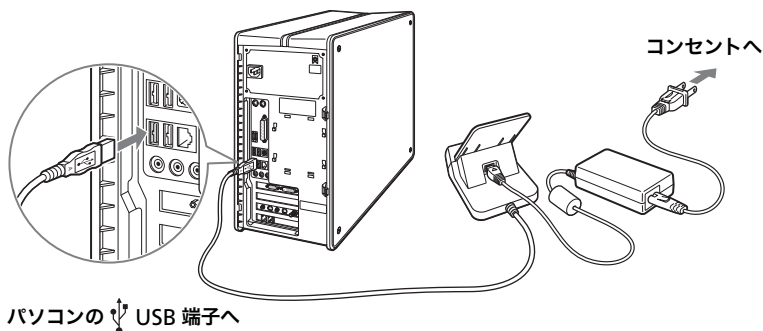
➡ **保証について詳しくは、**「保証書とアフターサービス」（96 ページ）をご覧ください。

カスタマー登録は以下の方法でもできます

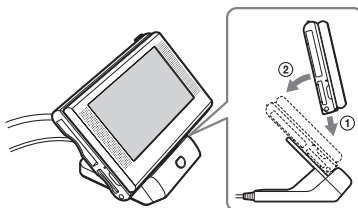
- 付属のカスタマー登録はがきを使う
- デスクトップ画面にある、クリエ カスタマー登録アイコンをダブルクリックする
- デスクトップ画面左下の[スタート]をクリックしてから、[プログラム]（Windows XP の場合は[すべてのプログラム]）－[SONY CLIE]－[PEG-VZ90 について]－[クリエ カスタマー登録]の順にクリックする

❸ クリエとパソコンをつなげる

カスタマー登録が終了したら、付属のクレードルを使ってクリエをパソコンと接続し、HotSync の動作確認をして、クリエをパソコンと連携して使えるようにします。

1 クレードルの USB コネクタをパソコンの USB 端子に接続する。

ご注意

クレードルの USB コネクタは、必ずパソコン本体の USB 端子へ接続してください。USB ハブなどを利用した場合、正常に HotSync が行われない場合があります。

2 クリエをクレードルに取り付ける。

❹ クリエにユーザー名を設定する

1 クレードルの HotSync ボタンを押す。

HotSync が始まり、必要なソフトウェアのインストールが自動的に始まります。

2 パソコンの「ユーザの選択」画面に、手順 ❶ の 7 で入力したユーザー名が表示されたら、[OK]をクリックする。

クリエから「ピロリ♪」と音がして、クリエとパソコンがデータをやりとり（HotSync）します。
このとき、手順 ❶ の 7 で設定したユーザー名がクリエにも登録されます。
クリエの画面に「HotSync 機能が終了しました」と表示されると、設定完了です。

ご注意

すでに別のクリエをお使いの場合は、そのクリエで使用しているユーザー名が選択されることがあります。そのときは、手順 ❶ の 7 で入力したユーザー名を選択してください。

続いて、CLIE Organizer for PC ソフトウェアをパソコンにインストールします。

準備する

❺ CLIE Organizer for PC ソフトウェアをインストールする

クリエ独自のアプリケーション「CLIE Organizer（クリエ オーガナイザー）」（46 ページ）で入力したデータをパソコンとやりとりしたり、データをパソコンにバックアップするには、CLIE Organizer for PC ソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。

ご注意

CLIE Organizer for PC ソフトウェアは、CLIE Palm Desktop ソフトウェアの機能とデータを共用しています。

- CLIE Organizer for PC ソフトウェアをお使いになるには、必ず CLIE Palm Desktop ソフトウェアがパソコンにインストールされていることが必要です。CLIE Organizer for PC ソフトウェアだけをお使いになる場合でも、CLIE Palm Desktop ソフトウェアはアンインストールしないでください。
- CLIE Organizer for PC、CLIE Palm Desktop どちらのソフトウェアでデータや設定を変更しても、両方のソフトウェアに変更が反映されます。本機では、CLIE Organizer for PC ソフトウェアをお使いになることをおすすめします。

次のページにつづく

ヒント
クリエで CLIE Organizer を使わずに、Palm 標準の「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」を使う場合は、CLIE Organizer for PC ソフトウェアをパソコンにインストールする必要はありません。

1 パソコンの「インストール CD-ROM」画面で[戻る]または[クリエ基本ソフトウェア]をクリックしたあと、[CLIE Organizer for PC(祝日・六曜、便利データ)]の[開く]をクリックする。

CLIE Organizer for PC ソフトウェアやデータのインストール画面が表示されます。

2 [CLIE Organizer for PC]の[インストール]をクリックする。

しばらくすると、「CLIE Organizer for PC セットアップへようこそ」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

「インストール準備の完了」画面が表示されます。

4 [インストール]をクリックする。

CLIE Organizer for PC ソフトウェアのインストールが始まります。
インストールが完了すると、「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。

5 [完了]をクリックする。

これでパソコンへの CLIE Organizer for PC ソフトウェアのインストールが終わりました。続いて、「Image Converter 2 for CLIE MP4」をパソコンにインストールします。

❻「Image Converter 2 for CLIE MP4」をインストールする

「Image Converter 2 for CLIE MP4」は、動画や静止画ファイルを本機で利用できるフォーマットに変換するためのソフトウェアです。以下の手順でインストールしてください。

1 パソコンの「インストール CD-ROM」画面で[静止画/動画を楽しむ]をクリックしたあと、[Image Converter 2 for CLIE MP4]の[インストール]をクリックする。

「Image Converter 2 for CLIE MP4」のインストールが始まります。
画面の指示にしたがってインストールしてください。
インストールが完了すると、「InstallShield ウィザードの完了」画面が表示されます。

2 [完了]をクリックする。

3 画面左下の[終了]をクリックする。

これでパソコンへの「Image Converter 2 for CLIE MP4」のインストールが終わりました。

付属アプリケーションをインストールする

付属のインストール CD-ROM からインストールの必要なアプリケーションは、次ページの手順でパソコンまたはクリエにインストールします。
あらかじめ、付属のインストール CD-ROM で CLIE Organizer for PC（または CLIE Palm Desktop）ソフトウェアをパソコンにインストールして、クリエとパソコンを接続しておいてください。

➡ **付属アプリケーションについて詳しくは、**「付属アプリケーションのご紹介」（53 ページ）をご覧ください。

ご注意

本機に付属のアプリケーションは、本機でのみご使用いただけます。他のクリエまたは Palm OS 搭載機器での動作は保証いたしません。

付属のインストール CD-ROM からインストールする

1 パソコンで起動しているすべてのソフトウェアを終了する。

2 パソコンの CD-ROM ドライブに、付属のインストール CD-ROM をセットする。

「インストール CD-ROM」画面が表示されます。

3 画面左側からインストールしたいアプリケーションの種類（[データを管理する]など）をクリックする。

4 インストールするアプリケーションの[インストール]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

次のページにつづく

5 クリエにインストールするアプリケーションの場合は、クリエをクレードルに取り付け、クレードルの HotSync ボタンを押す。

HotSync が始まり、選んだアプリケーションがクリエに転送されます。

6 パソコンの画面で[終了]をクリックする。

「インストール CD-ROM」画面が終了します。

ヒント

アプリケーションは CLIE Organizer for PC(または CLIE Palm Desktop)ソフトウェアの機能を使ってクリエにインストールすることもできます。

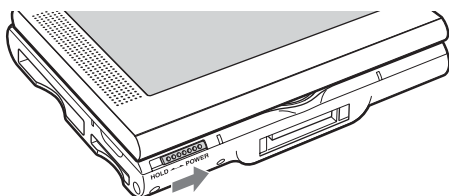
➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「アプリケーションを追加して機能を拡張する:インストールする」をご覧ください。

クリエの基本操作

この章では、電源の入れかたや切りかた、アプリケーションの起動のしかた、文字の入力方法、データの活用のしかたなどについて説明します。

電源を入れる

POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる。

本機の電源が入り、前回電源を切るときに表示されていた画面が表示されます。

POWER/HOLD スイッチをスライドさせる

ご注意

POWER/HOLD スイッチを 2 秒以上 POWER 方向にスライドさせると、画面の減光モードの入／切スイッチとして機能します。（103 ページ）

ヒント

電源が入らない場合は

本機を充分に充電しましたか？

➡ **詳しくは、**「よくあるお問い合わせと解決方法：電源が入らない」（71 ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

電源を切るには

電源を切る場合は、もう 1 度 POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる。

「自動電源オフ」機能と「スクリーンオフ」機能について

本機では、バッテリの消耗やディスプレイの焼き付きを防ぐため、操作しない状態で一定時間が経過すると自動的に電源をオフにする「自動電源オフ」と、画面表示をオフにする「スクリーンオフ」の機能があります。

- **「自動電源オフ」：**
  本機を内蔵バッテリで使用している場合に、2 分間操作が行われないと、電源がオフになります。（「Media Launcher」で動画や音楽の再生中は、電源はオンのままで下記の「スクリーンオフ機能」が作動します）
  ➡ **自動電源オフについて詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：自動電源オフまでの時間を設定する」をご覧ください。
- **「スクリーンオフ」：**
  「Media Launcher Movie」で動画の再生中は約 2 時間、「Media Launcher Music」で音楽の再生中は約 5 分間操作が行われないと、画面表示がオフになります。（POWER LED がゆっくりと点滅します）
  それ以外のアプリケーションの起動中は、本機を AC パワーアダプターで使用している場合に、約 5 分間操作が行われないと画面表示がオフになります。
  画面を復帰させるときは、アプリケーションボタンやディスクジョグの操作、スタイラスで画面をタップする、クレードルからの取りはずしや記録メディアの抜き差しなどの操作を行ってください。

ご注意

- スクリーンオフ機能を解除することはできません。
- スクリーンオフ機能の作動中に、時間がかかる処理を行なっているときは、すぐにスクリーンオフからの復帰が行えない場合があります。本体の POWER LED の点滅が終わるまでお待ちください。

アプリケーションを起動する

本機で何かを操作するためには、「アプリケーション」を起動する必要があります。
以下に、ホーム画面「Media Launcher（メディア ランチャー）」からアプリケーションを起動する方法について説明します。

「Media Launcher」（ホーム画面）を表示する

ホーム画面とは

本機の電源を入れ、ホーム アイコンをタップして表示される画面を「ホーム画面」と言います。
お買い上げ時の設定では、クリエ独自の「Media Launcher」がホーム画面として表示されるように設定されています。
お買い上げ後、最初に電源を入れて初期設定を行ったときは「Media Launcher」の「Movie」画面が表示されます。その後は、最後に表示したアプリケーションの画面が表示されます。

ヒント

ホーム画面の設定を、「Application」画面（31 ページ）に変更することもできます。

➡ **「Application」画面への切り換えについて詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの基本操作：「Application」画面からアプリケーションを起動する」をご覧ください。

Media Launcherとは

動画や音楽、静止画ファイルの管理／再生機能を統合した、クリエ独自のアプリケーションです。
パソコンなどから記録メディア（“メモリースティック”、CFメモリーカード、および内蔵メディア）に取り込んだ動画／音楽／静止画ファイルを、一括して管理／再生できます。

ご注意

容量の大きな記録メディアをご利用の場合、または記録メディアに多量のファイルが記録されている場合には、アプリケーションの動作や表示に時間を要することがあります。

動画／音楽／静止画のアプリケーションを起動する

起動したい機能のタブをスタイラスでタップすると、画面が切り換わります。

1 **[Movie] タブ（動画）**

「Media Launcher Movie」が起動します。
動画ファイルを再生できます。複数の動画ファイルを一覧画面でまとめて管理することもできます。

2 **[Music] タブ（音楽）**

「Media Launcher Music」が起動します。
音楽ファイル（ATRAC3またはMP3形式）を再生できます。
付属のヘッドホンおよびオーディオリモコンを使用することもできます。

3 **[Photo] タブ（静止画）**

「Media Launcher Photo」が起動します。
記録メディア内の静止画ファイルを一覧表示します。任意の静止画を画面に拡大して見ることもできます。

➡ Media Launcher **について詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Media Launcher」をご覧ください。

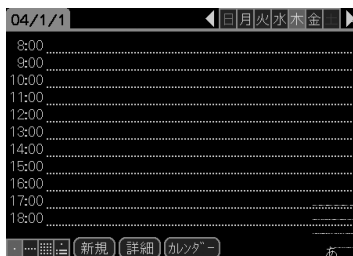
その他のアプリケーションを起動する

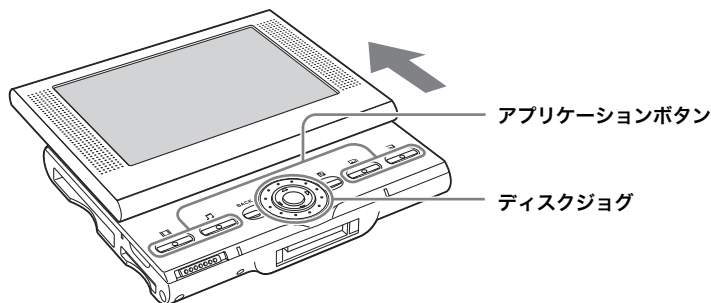
「Media Launcher」以外のアプリケーションを使うときは、「Application」画面（Palm 標準のホーム画面）から起動します。

1 Application アイコンをタップする。

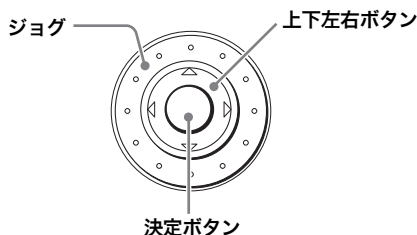
「Application」画面が表示されます。

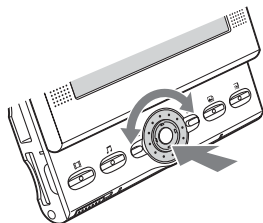
2 起動したいアプリケーションのアイコンをタップする。

選んだアプリケーションが起動します。

本体のボタンを使った起動方法について

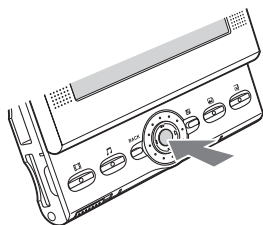
本機では、ディスクジョグやアプリケーションボタンなどを使ってアプリケーションを起動することもできます。
本体のディスプレイパネルをスライドさせると、ディスクジョグやアプリケーションボタンなどを使用することができます。

ディスクジョグを使う

ディスクジョグは、ジョグ、上下左右ボタン、決定ボタンで構成されています。

ディスクジョグの構成

1 ジョグまたは上下左右ボタンを使って、起動したいアプリケーションのアイコンを選ぶ。

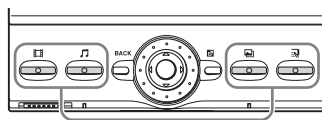
- ジョグを回すと、アイコンの選択（反転している状態）が左右に移動します。
  画面の端まで来ると、次の行に移動します。
- 上下左右ボタンを押すと、アイコンの選択が上下左右に移動します。

2 決定ボタンを押す。

選んだアプリケーションが起動します。

ヒント

カテゴリごとに選択したいときは

「Application」画面で右上の▼をタップして、表示したいカテゴリを選択します。

アプリケーションボタンを押す

アプリケーションボタンを押してアプリケーションを起動することもできます。
お買い上げ時の設定では、ボタンのアイコンに合わせて、「Media Launcher Movie」、「Media Launcher Music」、「Media Launcher Photo」、「CLIE Organizer」が起動します。

アプリケーションボタン

ヒント

- 本機の電源が入っていなくても、アプリケーションボタンを押すと本機の電源が入り、アプリケーションが起動します。
- CLIE Organizer ボタンを押したときの動作は以下のようになります。
  CLIE Organizer を起動しているとき:
  1 つ下のタブ画面を起動します。
  CLIE Organizer 以外のアプリケーションを起動しているとき、または電源オフのとき:
  最後に使用していた CLIE Organizer のタブ画面を起動します。
- アプリケーションボタンに好みのアプリケーションを割り当てることもできます。
  ➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する(環境設定):アプリケーションボタンの割り当てを変更する」をご覧ください。

アプリケーションを終了するには

クリエではパソコンでの操作と異なり、データの保存を行う必要はありませんが、一部のアプリケーションでは「保存」の操作が必要です。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

アプリケーションを作業中に別のアプリケーションに切り換えるには、以下の 2 つの方法があります。お好みの方法をお使いください。

▶アプリケーションアイコンをタップして別のアプリケーションを起動する

「Media Launcher」のアプリケーションを使っていた場合は、「Application」画面を表示してから別のアプリケーションアイコンをタップしてください。

▶アプリケーションボタン（34 ページ）を押して、別のアプリケーションに切り換える

（アプリケーションボタンに登録したアプリケーションのみ）

文字を入力する

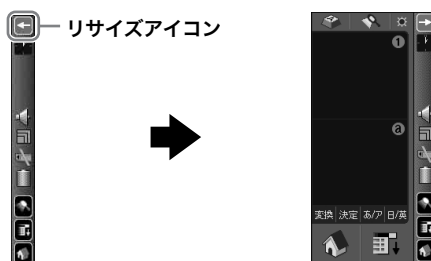
デクマ手書き入力で文字を入力する

デクマ手書き入力では、漢字やひらがな、カタカナなどの文字を書くと、書かれた文字の形状が自動的に認識され、文字として入力することができます。
入力画面を表示させるには、文字を入力したいアプリケーションを起動する必要があります。以下の方法で入力画面を起動します。

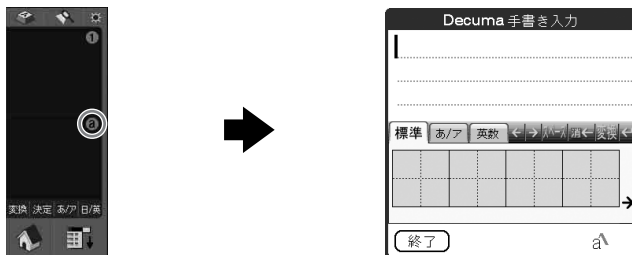
文字入力のしかた

1 **アプリケーションを起動して、文字を入力できる画面を表示させる。**

2 **ステータスバーのリサイズアイコンをタップする。**

Graffiti 2 入力エリアが表示されます。

CLIE Organizer をお使いの場合は、ステータスバーおよび Graffiti 2 入力エリアが 90° 回転して表示されます。

3 Graffiti 2 入力エリアの「a」をタップする。

「Decuma 手書き入力」画面の標準モード入力画面が表示されます。

ヒント

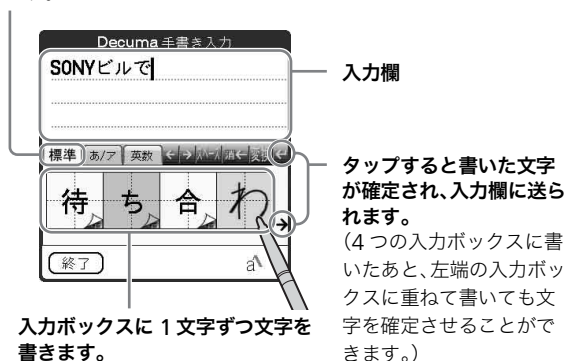
CLIE Organizer をお使いの場合は、シルクプラグイン アイコンをタップして表示される「シルクプラグイン」画面で、Graffiti 2 とデクマ手書き入力を切り換えることもできます。(112 ページ)

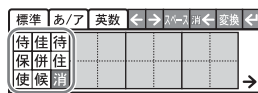
4 スタイラスを使って、入力ボックスに文字を書く。

標準モードは、ひらがな、カタカナ、漢字、数字、アルファベット、記号が文字として認識されます。

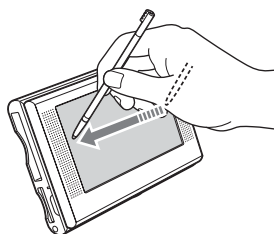
入力欄

タップすると書いた文字が確定され、入力欄に送られます。
(4 つの入力ボックスに書いたあと、左端の入力ボックスに重ねて書いても文字を確定させることができます。)

入力ボックスに 1 文字ずつ文字を書きます。

文字が正しく認識されないときは

入力ボックスの右下にあるページめくり アイコンをタップして、表示される候補リストから、正しい文字を選びます。

➡ **「デクマ手書き入力」での文字入力の方法について詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：デクマ手書き入力で文字を入力する」をご覧ください。

ヒント

「Decuma 手書き入力」画面が表示されているときに、Graffiti 2 入力エリアから画面の反対側までスタイラスでドラッグすると、デクマ手書き入力のヘルプ画面が表示されます。

その他の文字入力の方法

本機では、以下の方法でも文字を入力できます。お好みに合わせて、ご自分に合った方法をお選びください。

日本語の入力や漢字変換について詳しくは、パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する」をご覧ください。

● 手書き入力システム

「デクマ手書き入力」(36 ページ) 以外にも、以下の方法があります。

Graffiti 2（グラフィティ ツー）

Graffiti 2 という手書き入力専用の文字を使って、文字を入力します。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：Graffiti 2 で文字を入力する」をご覧ください。

● スクリーンキーボード

画面上に表示されたキーボードをタップして、文字を入力します。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：スクリーンキーボードで文字を入力する」をご覧ください。

● ソフトウェアキーボード (109 ページ)

(CLIE Organizer 使用時のみ)

スクリーンキーボードと操作方法は同じですが、スクリーンキーボードのように有効画面を狭くせずにアプリケーションを使えます。

● パソコンからの HotSync

大量の文字を入力したり、パソコンのキーボードを使って入力したいときは CLIE Organizer for PC (または CLIE Palm Desktop) ソフトウェアを使って、HotSync することで文字データをクリエに転送できます。

➡ **詳しくは、**CLIE Organizer for PC (または CLIE Palm Desktop) ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ヒント

日本語変換システム「ATOK」を使うこともできます

本機には Palm OS 標準の日本語入力システムの他に、変換効率の高い日本語変換システムとして定評のある ATOK が付属しています。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：ATOK を使用する」をご覧ください。

データを活用する

クリエのアプリケーションにすでに入力してあるテキストデータを活用して、別のアプリケーションの新規データを簡単に作成することができます。
また、データを作成中に別のアプリケーションのデータを検索して、データを取り込んだりすることもできます。

テキストを活用して別のアプリケーションに新しいデータを作成する

ここでは、「アドレス」に新しいデータを作成する手順を例にして説明します。

1 **「アドレス」以外のアプリケーションの入力画面で、活用したいテキストをスタイラスでドラッグして選択する。**

2 **ディスクジョグの右にある、データ活用 ボタン（102 ページ）を押す。**

画面の右側にメニューリストが表示されます。

3 **[アドレスの新規作成]をタップする。**

「新規アドレス」画面が表示され、選択したテキストが画面中央に表示されます。

4 **テキストから文字列を選び（1）、▼をタップして入力項目を選んで（2）、[コピー]をタップする（3）。**

画面の上側にある項目欄（4）に、選んだ文字列が入力されます。

5 **[OK]をタップする。**

「アドレス」が起動し、作成したデータが表示されます。

ヒント

- 「予定表」に新しいデータを作成する場合は、手順 3 で[予定の新規作成]をタップしたあと、「新規予定」画面の[時間]および[日付]の入力欄をそれぞれタップして設定してください。
- 「To Do」、「メモ帳」、「CLIE Mail」に新しいデータを作成する場合は、手順 3 で[To Do(または「メモ」「メール」)の新規作成]をタップすると、それぞれのアプリケーションが起動し、入力画面にテキストが表示されます。
- 選択した文字列がメールアドレスを含む場合は、[メールの新規作成]をタップすると「CLIE Mail」が起動し、[宛先]欄に送信先のメールアドレスとして表示されます。
  ホームページの URL を含む場合は、[ブラウザで開く]をタップすると「NetFront v3.1 for CLIE」が起動して、ホームページを開くことができます。

選択したテキストに関連するデータを別のアプリケーションから検索する

ここでは、「アドレス」のデータを検索する手順を例にして説明します。

1 **「アドレス」以外のアプリケーションの入力画面で、検索したいテキストをスタイラスでドラッグして選択する。**

2 **ディスクジョグの右にある、データ活用 ボタンを押す。**

画面の右側にメニューリストが表示されます。

3 **[アドレス検索]をタップする。**

「検索」画面が表示され、選択したテキストから検索されたデータの一覧が画面に表示されます。

次のページにつづく

4 検索結果に応じて、必要な操作を行う。

「検索」画面には以下の機能があります。

1 検索対象のアプリケーション

▼をタップすると、別のアプリケーション(ここでは「アドレス」以外)での検索結果も表示することができます。

2 詳細

一覧からデータを選んで[詳細]をタップすると、選んだデータの詳細情報が表示されます。
「予定表」や「アドレス」、「手書きメモ」のデータを選んだ場合は、詳細情報の中から引用したい項目のみを選ぶことができます。

3 引用

一覧からデータを選んで[引用]をタップすると、検索前に選んでいたテキストの位置に、選んだデータがテキストとして挿入されます。

ご注意

データ活用 ボタンを押す前に、文字入力の可能な領域にカーソルがなかった場合は、[引用]は表示されません。

4 開く

一覧からデータを選んで[開く]をタップすると、選んだデータが保存されているアプリケーションが起動します。

5 検索

1 の下にある入力欄(下線部分)にテキストを入力して[検索]をタップすると、入力したテキストであらたに検索を行います。
その場合、6 の▼をタップして[絞込み検索]を選ぶと、一覧に表示されているデータのみに範囲を絞って検索を行うことができます。
(6 は検索結果が複数あるときのみ表示されます。)

テキストを選択せずに検索した場合は

前ページの手順 1 で、文字列を選択せずにデータ活用 ボタンを押して検索を行うと、「検索」画面の一覧は空白のままで表示されます。
この場合でも、1 の下にある入力欄(下線部分)に文字を入力して、検索を行うことができます。

使ってみよう

動画／音楽／静止画を再生する

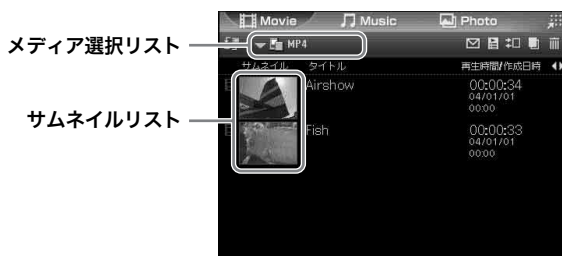
動画を再生する

パソコンなどからクリエの記録メディア（“メモリースティック”、CF メモリーカード、および内蔵メディア）に取り込んだ動画ファイルを一括して管理／再生できます。

➡**動画ファイルの取り込みかたについて詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Media Launcher Movie」をご覧ください。

動画ファイルの再生のしかた

1 ホーム画面で [Movie] タブをタップする。

「Media Launcher Movie」のリスト画面が表示されます。

2 メディア選択リストの▼をタップして、保存されている記録メディアと再生したい動画ファイルの形式を選んでタップする。

次のページにつづく

3 サムネイルリストから再生したい動画ファイルを選んでタップする。

再生画面が表示され、選んだ動画ファイルの再生が開始されます。
再生を止めるには、停止■ボタンをタップします。
ボリュームを調節するには、ボリューム ━━━ ボタン／スライダを使用します。
➡**その他の操作について詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Media Launcher Movie」をご覧ください。

音楽を再生する

パソコンなどからクリエの記録メディア（"メモリースティック"、CF メモリーカード、および内蔵メディア）に取り込んだ音楽ファイルを再生できます。
➡**音楽ファイルの取り込みかたについて詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Media Launcher Music」をご覧ください。

音楽ファイルの再生のしかた

1 ホーム画面で [Music] タブをタップする。

「Media Launcher Music」の再生画面が表示されます。

2 メディア選択リストの▼をタップして、保存されている記録メディアと再生したい音楽ファイルの形式を選んでタップする。

3 再生 ▶ ボタンをタップする。

No.001 から順に、音楽ファイルの再生が開始されます。
再生を止めるには、停止■ボタンをタップします。
ボリュームを調節するには、ボリューム ━━━ ボタン／スライダを使用します。
➡**その他の操作について詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Media Launcher Music」をご覧ください。

静止画を再生する

パソコンなどからクリエの記録メディア（“メモリースティック”、CF メモリーカード、および内蔵メディア）に取り込んだ静止画ファイルを一括して管理／再生できます。

➡**静止画ファイルの取り込みかたについて詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Media Launcher Photo」をご覧ください。

静止画ファイルの再生のしかた

1 ホーム画面で [Photo] タブをタップする。

「Media Launcher Photo」のリスト画面が表示されます。

2 サムネイルリストから再生したい静止画ファイルを選んでタップする。

View 画面が表示され、選んだ静止画ファイルが表示されます。

➡**その他の操作について詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Media Launcher Photo」をご覧ください。

電子手帳として使う

クリエには、スケジュールやアドレスなどさまざまな個人情報を管理する電子手帳機能が搭載されています。また、クリエとパソコンを同期することで、パソコン上でデータを管理することもできます。

本機には Palm OS 標準の電子手帳機能として、下記のアプリケーションが搭載されています。

- 予定表
- アドレス
- To Do（やることリスト）
- メモ帳

上記に加えて、本機にはクリエ独自の電子手帳アプリケーション「CLIE Organizer（クリエ オーガナイザー）」も搭載されています。

CLIE Organizer を使う

本機に搭載の「CLIE Organizer（クリエ オーガナイザー）」は、Palm OS 標準の電子手帳機能をさらに高機能化し、あわせて手書きメモや便利情報などを加えて統合化したアプリケーションです。

●CLIE Organizer 予定表

さまざまなスケジュールを効率よく管理できます。
Palm OS 標準の「予定表」の機能に加えて、予定に色を付けたり、手書き文字の記入、静止画や動画ファイル、手書きメモ、シールなどを貼り付けたりすることもできます。

●CLIE Organizer アドレス

名前、住所、電話番号などのアドレス情報を管理できます。
Palm OS 標準の「アドレス」の機能に加えて、手書きメモを貼り付けたり、複数のアドレスデータを写真付きで一覧表示することもできます。

●CLIE Organizer To Do（やることリスト）

しなければならない仕事や用事を一覧表示して管理できます。
Palm OS 標準の「To Do」の機能に加えて、優先順位を付けたり、階層に分けて表示することもできます。

●CLIE Organizer 手書きメモ

CLIE Organizer 独自の機能です。
手書きの文字やイラストなどをそのままメモとして書き残せます。
シールや写真、動画ファイルを貼り付けることもできます。

●CLIE Organizer メモ帳

テキスト形式のメモを作成できます。Palm OS 標準の「メモ帳」に比べ、約 8 倍（全角で約 16383 文字）のデータサイズの文書を扱うことができます。
あらかじめパソコンなどで作成したテキストファイルから読み込むこともできます。

●CLIE Organizer 便利情報

CLIE Organizer 独自の機能です。
単位換算表など便利なコンテンツを見ることができます。
また、付属のインストール CD-ROM から便利情報のコンテンツを追加することができます。[クリエ基本ソフトウェア]の[CLIE Organizer for PC（祝日、六曜、便利情報データ）]–[便利情報データ]からインストールしてお使いください。

➡**各機能について詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「CLIE Organizer」の各機能の説明をご覧ください。

「予定表」にスケジュールを入力する

本機の「CLIE Organizer 予定表」にスケジュールを入力してみましょう。

1 CLIE Organizer を起動する。

ヒント

CLIE Organizer をはじめて起動するときは、「予定表」に休日情報の登録を行うための「休日設定」画面が表示されます。

休日の設定を行いたい場合は [OK] をタップしたあと、表示される「休日情報の登録」画面で[はい]をタップしてください。

2 [予定表]タブをタップする。

「予定表」画面が表示されます。

3 画面左下にある新規アイコンをタップする。

「予定の詳細」画面が表示されます。

4 ステータスバーの右にあるリサイズアイコンをタップする。

Graffiti 2 入力エリアが表示されます。

5 スケジュールを入力し、[OK]をタップする。

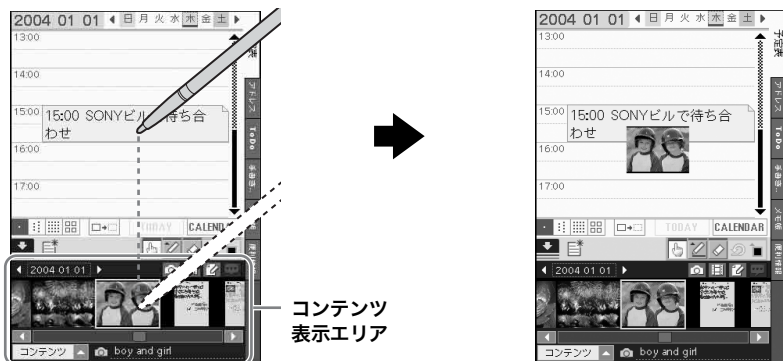
入力したスケジュールが「予定表」画面に表示されます。

➡ **文字入力のしかたについて詳しくは、**「文字を入力する」(36 ページ)をご覧ください。

6 ステータスバーの右にあるリサイズアイコンをタップする。

Graffiti 2 入力エリアがコンテンツ表示エリアに切り換わります。

7 コンテンツ表示エリアにある静止画ファイルを、貼り付けたい位置にスタイラスでドラッグする。

ドラッグした位置に、静止画ファイルが貼り付けられます。

ヒント

静止画ファイルだけでなく、動画ファイルや手書きメモを貼り付けることもできます。

➡ **「CLIE Organizer 予定表」の使いかたについて詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「CLIE Organizer「予定表」」をご覧ください。

データをパソコンと同期する（HotSync）

（HotSync のルビ：ホットシンク）

HotSyncとは？

クリエとパソコンのファイル／データをやりとりし、双方のファイル／データを最新の状態にしたり、ファイル／データのバックアップをとる、アプリケーションのインストールをするといった操作を HotSync と呼びます。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「パソコンとクリエを同期させる」をご覧ください。

クリエの「CLIE Organizer 予定表」にスケジュールを入力したあと、パソコンとクリエを連携させて、入力したスケジュールをパソコンで読んでみましょう。

ご注意

- 「Intellisync Lite for Sony CLIE」で「予定表」を「Microsoft Outlook」と同期する設定にしてあると、CLIE Organizer for PC ソフトウェアや CLIE Palm Desktop ソフトウェアとは同期できません。その場合は、「Intellisync Lite for Sony CLIE」の設定を解除してください。
  ➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Intellisync Lite for Sony CLIE」をご覧ください。
- CLIE Organizer for PC ソフトウェアで作成したデータを CLIE Palm Desktop ソフトウェアで編集する前には、かならず HotSync を行ってください。CLIE Organizer for PC ソフトウェアで作成したデータを、HotSync を行わずに CLIE Palm Desktop ソフトウェアで編集すると、CLIE Organizer 拡張部分のデータ（予定に付加されたアイコンなど）が削除される場合があります。

「CLIE Organizer 予定表」にスケジュールを入力する

48 ページの手順に従って、「CLIE Organizer 予定表」にスケジュールを入力します。

HotSyncする

1 **パソコンを起動する。**

2 **クレードルとパソコンをつなぐ。（22 ページ）**

3 クリエをクレードルに取り付ける。（22 ページ）

4 クレードルの HotSync ボタンを押す。

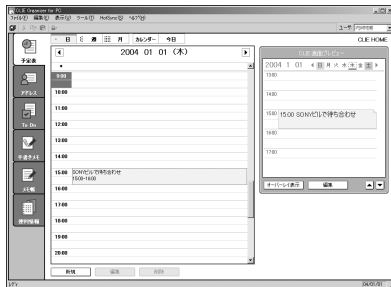
クリエとパソコンで HotSync を行います。
HotSync が終了すると、クリエに次の画面が表示されます。

同期させたスケジュールをパソコンで見る

1 パソコンのデスクトップ画面で、CLIE Organizer for PC アイコンをダブルクリックする。

CLIE Organizer for PC ソフトウェアが起動し、予定表が表示されます。

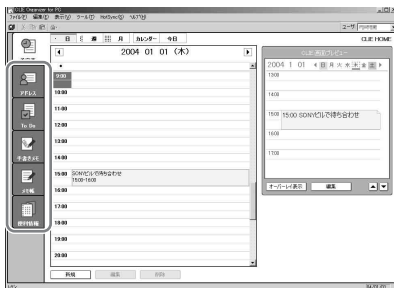
ヒント

デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックしてから［プログラム］（Windows XP の場合は［すべてのプログラム］）－［SONY CLIE］－［CLIE Organizer for PC］の順にクリックして、予定表を表示させることもできます。

2 画面上のカレンダーで、スケジュールを入力した日をクリックする。

入力したスケジュールが表示されます。

次のページにつづく

その他の情報画面（アドレス、To Do、メモ帳、手書きメモ、便利情報）に切り換えるには

画面左にあるそれぞれのタブをクリックしてください。

ワイヤレス LAN 機能を使って HotSync する

ワイヤレス LAN 機能を使って、パソコンと HotSync することもできます。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「パソコンとファイル／データを同期する（その他の HotSync）：ワイヤレス LAN（ネットワーク）経由で HotSync する」をご覧ください。

バックアップのおすすめ

万一、クリエを初期状態に戻す（ハードリセットする）必要のあるトラブルが起きたときでも、常に HotSync でバックアップしておくことで、クリエを最後にバックアップした状態へ復帰させることができます。

* 一部バックアップできない記録内容があります。

➡ **バックアップについて詳しくは、**「クリエのデータやアプリケーションをバックアップする」（67 ページ）をご覧ください。

付属アプリケーションのご紹介

本機に付属のアプリケーションを紹介します。

➡ **付属アプリケーションの操作方法について詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエアプリケーションマニュアル」をご覧ください。

付属のアプリケーションの種類について

本機に付属のアプリケーションには、以下の 2 種類があります。

- **本機にすでにインストールされていて、すぐにお使いになれるもの**
- **パソコンにインストールして使うもの**

➡ **付属アプリケーションのインストールのしかたについて詳しくは、**「準備する：付属アプリケーションをインストールする」（25 ページ）をご覧ください。

基本アプリケーション

Media Launcher（メディア ランチャー）

動画／音楽／静止画をクリエで一括して管理／再生できる、基本アプリケーションです。画面上にあるそれぞれのタブをタップして、各機能を起動できます。

- Movie（動画）
- Music（音楽）
- Photo（静止画）

➡ Media Launcher **について詳しくは、**「使ってみよう：動画／音楽／静止画を再生する」（43 ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

CLIE Organizer（クリエ オーガナイザー）

画面右にあるそれぞれのタブをタップすると、以下の電子手帳機能を起動できます。

- **予定表**
- **アドレス**
- To Do
- **手書きメモ**
- **メモ帳**
- **便利情報**

➡ CLIE Organizer **について詳しくは、**「使ってみよう：電子手帳として使う」（46ページ）をご覧ください。

その他のアプリケーション

クリエで使うアプリケーション

Media Launcher 画面の右にある Application アイコンをタップして、「Application」画面で表示されるアプリケーションです。それぞれのアイコンをタップして起動できます。

アドレス

名前、住所、電話番号などのアドレス情報を管理するアプリケーションです。

カード情報

記録メディア（“メモリースティック”、CF メモリーカードおよび内蔵メディア）の使用領域や空き領域などの情報を確認することができます。

データ保護

クリエをパスワードでロックしたり、プライベートデータを非表示／マスクに設定することができます。

メモ帳

テキスト形式のメモを作成するアプリケーションです。

環境設定

クリエ上のさまざまな設定をカスタマイズすることができます。

辞書

辞書データを利用して、言葉の意味や英単語などを調べるためのアプリケーションです。

初期設定

お買い上げ時の初期設定（デジタイザの調整、日付や時刻などの設定）を行うことができます。

電卓

基本的な計算をしたり、数値を電卓メモリに保存して呼び出したりできるアプリケーションです。

予定表

さまざまなスケジュールを効率よく管理するアプリケーションです。

ATOK 設定

日本語変換システムとして ATOK を使用するための設定を行うことができます。

CF Utility（シーエフ ユーティリティ）

本機の CF カードスロットに挿入した CF 通信カード（別売り）の状態を表示します。

CLIE FAQ（クリエ エフエーキュー）

操作時の疑問点を、クリエの画面上で調べることができるアプリケーションです。

CLIE Files（クリエ ファイルズ）

クリエ本体と記録メディアの間で、コピー、移動、削除などのやりとりをしたり、記録メディア内でデータのやりとりをするためのアプリケーションです。

CLIE Mail（クリエ メール）

クリエ用の電子メールアプリケーションです。

ご注意

- クリエ本体でメール通信をする場合は、クリエをインターネットに接続するための準備が必要です。
- パソコン上の電子メールをクリエに転送する場合は、付属のインストール CD-ROM からパソコンに「CLIE Mail Conduit」をインストールする必要があります。

Data Import（データ インポート）

パソコン上の「Data Export」とあわせて、記録メディアにパソコンから HotSync を使わずにアプリケーションをインストールしたり、データをコピーするためのアプリケーションです。

Decuma（デクマ）

デクマ手書き入力でショートカットの登録や、文字の認識スピード／太さ／色の変更を行うことができます。

次のページにつづく

ホットシンク
HotSync

クリエとパソコンのデータを同期したり、パソコンにバックアップデータを保存することができます。

メモリー スティック バックアップ
Memory Stick Backup

アプリケーションやデータをまとめて"メモリースティック"にバックアップするためのアプリケーションです。
※内蔵メディアにコピーすることも可能です。

ネットフロント フォー クリエ
NetFront v3.1 for CLIE

クリエでホームページを閲覧するためのアプリケーションです。

ご注意

クリエをインターネットに接続するための準備が必要です。

ピクセル ビューワー フォー クリエ
Picsel Viewer for CLIE

Microsoft Word、Excel、PowerPoint、PDF などパソコンで作成した文書を、クリエで閲覧するためのアプリケーションです。

トゥー ドゥー
To Do

しなければならない仕事や用事を一覧表示して管理するアプリケーションです。仕事や用事に優先順位をつけて表示することもできます。

パソコンにインストールして使うアプリケーション

付属のインストール CD-ROM からお使いのパソコンにインストールしてご使用ください。

クリエ アップデート ウィザード
CLIE Update Wizard

ソニーのサポートサイトからクリエに付属のアプリケーションの最新アップデートモジュールを検索して、パソコンにダウンロードするソフトウェアです。

データ エクスポート
Data Export

クリエの「Data Import」とあわせて、クリエの記録メディアにパソコンからHotSync を使わずにアプリケーションをインストールしたり、データをコピーするためのアプリケーションです。

イメージ コンバーター フォー クリエ エムピーフォー
Image Converter 2 for CLIE MP4

パソコン上で、動画や静止画をクリエで閲覧できる形式に変換して、記録メディアに出力するためのソフトウェアです。

インテリシンク ライト フォー ソニー クリエ
Intellisync Lite for Sony CLIE

Microsoft Outlook のデータを、クリエの「予定表」や「アドレス」、「To Do」などと連携するためのソフトウェアです。

ソニックステージ
SonicStage

クリエで聞く音楽ファイルをパソコンで管理／作成したり、クリエに入れたマジックゲート対応の“メモリースティック”に音楽ファイルを転送するためのソフトウェアです。

ご注意

パソコンに「SonicStage」の Version1.5.53 以上がインストールされている場合、インストール CD-ROM に収録されている「SonicStage」はインストールできません。その場合はそのまま「SonicStage」はインストールせずに、インストール CD-ROM から CLIE Palm Desktop ソフトウェアもしくは「Data Export」をインストールすることで、お手持ちの「SonicStage」を使ってクリエとパソコンの間で音楽の転送（チェックアウト、チェックイン）ができるようになります。
お手持ちの「SonicStage」のバージョンを確認するには、「SonicStage」画面の左下にある[Menu]ボタンの[バージョン情報]をクリックしてください。

パソコンで見るマニュアルを使う

本機にはこの冊子や、別冊「インターネット接続ガイド」以外にも、パソコンで見るマニュアル「クリエ マニュアル」が付属しています。

ご注意

あらかじめ「CLIE Palm Desktop ソフトウェアをインストールする」(19 ページ)に従って、CLIE Palm Desktop ソフトウェアをお使いのパソコンにインストールしておいてください。CLIE Palm Desktop ソフトウェアをインストールすると、「クリエ マニュアル」も同時にインストールされます。

ヒント

付属のインストール CD-ROM から直接「クリエ マニュアル」を見たい場合は、「付属のインストール CD-ROM から直接「クリエ マニュアル」を開くには」(60 ページ)をご覧ください。

こんなときはこのマニュアル

本機の機能や使いかたをより詳しく知るには、紙のマニュアルのほかに、以下のマニュアルをご活用ください。

付属アプリケーションの使いかたを知りたいときは

「クリエ アプリケーションマニュアル」で、目的のアプリケーションの詳しい使いかたを知る

HTML 形式のマニュアルです。

各アプリケーションの使いかたについて詳しく説明しています。

クリエの基本操作や便利な機能について知りたいときは

「クリエ読本」を見る

PDF 形式のマニュアルです。

基本的な操作方法、便利な機能や使いこなしかたを詳しく説明しています。

動作がおかしい、うまく動かないなどのときは

この冊子の「よくあるお問い合わせと解決方法」(68 ページ)をご覧ください。

ヒント

この冊子(「はじめにお読みください(取扱説明書)」)と別冊「インターネット接続ガイド」は、「クリエ マニュアル」にも PDF 形式のマニュアルとして収録されています。

「クリエ マニュアル」を開く

「クリエ マニュアル」を開くには、以下の手順で操作します。

1 パソコンのデスクトップ画面上にある （[クリエ マニュアル PEG-VZ90]アイコン）をダブルクリックする。

「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面が表示されます。

ヒント

デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックしてから、［プログラム］（Windows XP の場合は［すべてのプログラム］）－［SONY CLIE］－［PEG-VZ90 について］－［クリエ マニュアル］の順にクリックして、「ご覧になりたいマニュアルをクリックしてください」画面を表示することもできます。

2 見たいマニュアルをクリックする。

選んだマニュアルが表示されます。

ご注意

［PDF］と表示されているマニュアルを見るには、パソコンに PDF 形式のファイルを表示できるソフトウェアがインストールされている必要があります。PDF 形式のファイルを表示できるソフトウェアがインストールされていない場合は、インストールを行ってください。

➡ 付属のインストール CD-ROM から「Adobe Reader」をインストールすることもできます。PDF 形式のマニュアルの使いかたやインストールの方法について詳しくは、「PDF 形式のマニュアルを見る」（61 ページ）をご覧ください。

付属のインストール CD-ROM から直接「クリエ マニュアル」を開くには

1 **パソコンの CD-ROM ドライブに、付属のインストール CD-ROM をセットする。**

2 **「インストール CD-ROM」画面が表示されたら、画面左下の［終了］をクリックする。**

3 **デスクトップ画面上の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**
Windows XP の場合は、デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして表示される画面から［マイ コンピュータ］をクリックする。

4 **［CLIE］アイコンを右クリックして、表示されるメニューから［開く］をクリックする。**

- **PDF 形式のマニュアルを見るときは**
  ［JP］フォルダー［Manuals］フォルダー［PEG-VZ90］フォルダの順にダブルクリックし、見たいマニュアルの PDF ファイルをダブルクリックする。
  －「はじめにお読みください（取扱説明書）」（PDF ファイル名：ReadThisFirst.pdf）
  －「クリエ読本」（PDF ファイル名：Handbook.pdf）
  －「インターネット接続ガイド」（PDF ファイル名：Internet.pdf）
- **HTML 形式の「クリエ アプリケーションマニュアル」を見るときは**
  ［JP］フォルダー［Manuals］フォルダー［PEG-VZ90］フォルダー［Manual_Portal］フォルダー［index_portal.html］ファイルの順にダブルクリックし、［クリエ アプリケーションマニュアル］アイコンをクリックする。

PDF 形式のマニュアルを見る

PDF 形式のマニュアルの見かたを説明します。

1 **手のひらツール**

画面をドラッグしてページの表示位置を移動させることができます。

2 **しおり**

目次ページと同じ内容が表示されています。
各見出しをクリックすると、そのページが表示されます。
左端の ＋ をクリックすると、その章や項目内の詳細な見出しが表示されます。

3 **拡大／縮小します。**

4 **ページをスクロールします。**

5 **アイコンが表示される場所をクリックすると、参照先のページが表示されます。**

6 **ページを移動します。**

画面下側のページ表示欄に見たいページ数を入力して、ページを移動させることもできます。

「Adobe Reader」をインストールする

お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、付属のインストール CD-ROM から以下の手順でインストールしてください。

1 パソコンで起動しているすべてのソフトウェアを終了する。

次のページにつづく

2 **パソコンのCD-ROMドライブに、付属のインストールCD-ROMをセットする。**

「インストールCD-ROM」画面が表示されます。

3 **画面左側の[クリエ基本ソフトウェア]をクリックする。**

4 **[Adobe Reader]の[インストール]をクリックする。**

以降、画面の指示に従って操作してください。

5 **インストールが終了したら、[終了]をクリックする。**

「インストールCD-ROM」画面が終了します。

「クリエ アプリケーションマニュアル」(HTML形式)を見る

HTML形式の「クリエ アプリケーションマニュアル」の見かたを説明します。

ご注意

「クリエ アプリケーションマニュアル」は「Microsoft Internet Explorer Version 5.0」以降で動作確認をしています。正しく表示するためには、「Microsoft Internet Explorer Version 5.0」以降を使ってご覧ください。

1 **見たいアプリケーション名を選んでクリックすると、各アプリケーションの説明画面が表示されます。**

2 **知りたい内容を頭文字から検索することができます。**

3 **知りたい内容を選んでクリックすると、その内容に関連するアプリケーションを選ぶ画面が表示されます。**

困ったときは

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順 1 CLIE FAQ やこの冊子、パソコンで見るマニュアルで調べる

- クリエ本体内にある「CLIE FAQ」をご覧ください。
- この冊子の「よくあるお問い合わせと解決方法」（68 ページ）をお読みください。
- パソコンのデスクトップ画面上にある[クリエ マニュアル PEG-VZ90]アイコンをダブルクリックしてアプリケーションの情報を確認してください。

手順 2 ホームページの「カスタマーサポート」で調べる

ネットコミュニケーションカスタマーリンクのホームページ（http://www.nccl.sony.co.jp/）では、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報のほか、最新プログラムのダウンロード提供や、周辺機器との接続情報などを掲載しています。パソコンのデスクトップ画面上にある[クリエ インフォメーション]アイコンをダブルクリックしてください。

手順 3 それでもトラブルが解決しないときは

91 ページをご覧の上、それぞれのお問い合わせ先またはお買い上げ店にご相談ください。

ご注意

Palm OS 用に開発されたアプリケーションは、何千種類もあります。弊社ではそれら他社製のアプリケーションについて動作保証をしていないため、サポートは行っておりません。他社製のアプリケーションで問題が生じた場合は、そのアプリケーションの開発元または発売元にお問い合わせください。

本機を再起動する

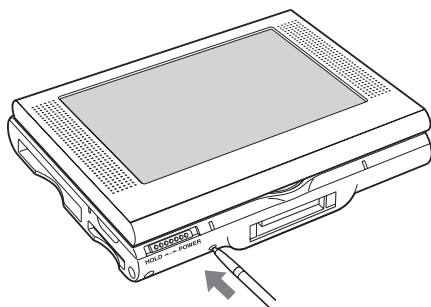
通常、本機を再起動（リセット）する必要はありませんが、**電源が入らなくなったり、操作に反応しなくなった場合は、**ソフトリセットを実行して本機を再起動させることで症状を解消できる場合があります。

このような場合は、以下の手順で本機をリセットしてください。

再起動する（ソフトリセット）

ソフトリセットを実行しても、本機に記録したデータや追加インストールしたアプリケーションはそのまま残ります。

スタイラスを使って、RESET ボタンをゆっくりと押す。

実行中の動作が停止して、本機が再起動します。
再起動後は、「palm POWERED」、「SONY」、「CLIÉ」と画面が表示され、続いて日付と時刻を設定するための「環境設定」画面が表示されます。

ご注意

- RESET ボタンを押したあと「環境設定」画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。その間に再度 RESET ボタンを押さないでください。
- スタイラス以外で、RESET ボタンを押さないでください。故障の原因になる場合があります。
- RESET ボタンを押すときは、他のボタンを押さないようにご注意ください。

ハードリセットをする

ソフトリセットで問題が解消されない場合は、ハードリセットを行って本機を再起動する必要があります。

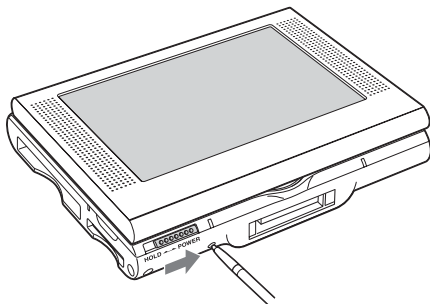
ご注意

- **ハードリセットを行うと、これまでに記録したデータや、追加インストールしたアプリケーションはすべて消去されます。**
- ソフトリセットではどうしても再起動できない場合などを除いては、ハードリセットは絶対に実行しないでください。
  ただし、HotSync でパソコンにバックアップをとっていれば、次に HotSync したときにパソコンに保存してあるデータは復元できます。
  * 一部バックアップできない記録内容があります。
  ➡ **詳しくは、**「クリエのデータやアプリケーションをバックアップする」(67 ページ)をご覧ください。
- RESET ボタンを押すときは、他のボタンを押さないようにご注意ください。

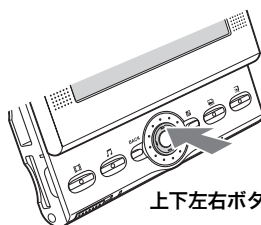
1 POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる。

2 POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせたまま、スタイラスで RESET ボタンをゆっくりと押して、離す。

ご注意

POWER/HOLD スイッチは、POWER 方向にスライドさせたままにしてください。

3 「palm POWERED」画面が表示されたら、3 秒ほど待って POWER/HOLD スイッチから指を離す。

「データをすべて消去しますか？」と画面に表示されます。

次のページにつづく

4 上下左右ボタンの上△を押す。

ヒント

ハードリセットを中止する場合は、上△**以外のボタン**を押してください。

ハードリセットが完了します。
「palm POWERED」、「SONY」、「CLIÉ」と画面が表示され、続いて「初期設定」画面が表示されます。「電源を入れて初期設定を行う」(13 ページ)の手順に従って、初期設定してください。
ハードリセットを行ったあとも、現在の日付と時刻はそのまま残ります。書式などの設定は、お買い上げ時の設定に戻ります。

ご注意

- ハードリセットを行うとき、RESET ボタンを押したあと「palm POWERED」画面が表示されるまで 20 秒弱かかります。その間、POWER/HOLD スイッチはずっと POWER 側にスライドさせたままにしておいてください。また、その間に再度 RESET ボタンを押さないでください。
- 上△ボタンを押す時間が短いと、ハードリセットが実行されない場合があります。
- ハードリセットしたあとにはじめて HotSync を行う場合は、CLIE Organizer for PC ソフトウェアの[HotSync]メニューから[動作設定]をタップして表示される「HotSync 機能の動作設定」画面で、[CLIE Organizer FNotes](手書きメモ)のコンジットの設定を「本体が CLIE Organizer for PC を上書き」以外にしてください。(お買い上げ時は[ファイルの同期]になっています。)
  「本体が CLIE Organizer for PC を上書き」に設定されていると、最後に HotSync したあとに CLIE Organizer for PC ソフトウェアで作成した「手書きメモ」のデータが復元できないことがあります。

クリエのデータやアプリケーションをバックアップする

予期しないトラブルが起きたときのために、こまめにデータの複製をとっておくこと(バックアップ)をおすすめします。万一、クリエを初期状態に戻す必要のあるトラブルが起きたときでも、常にバックアップをしておくことで、クリエを最後にバックアップした状態へ復帰させることができます。

ヒント

内蔵メディアに保存したデータやファイルをバックアップするには、「CLIE Files」を使って"メモリースティック"にコピーするか、「Data Import」を使ってパソコンにコピーしてください。

➡ **「CLIE Files」と「Data Import」について詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

「Memory Stick Backup」によるバックアップ

付属の「Memory Stick Backup」を使って"メモリースティック"へバックアップ(または内蔵メディアへコピー)することができます。簡単にバックアップできる便利な方法です。

➡ **"メモリースティック"にバックアップする場合は、"メモリースティック"(別売り)が必要です。詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Memory Stick Backup」をご覧ください。

HotSync によるバックアップ

HotSync を行うたびに、クリエ本体のデータやアプリケーションはパソコンにバックアップされます。
ハードリセットなどによってクリエ本体内のデータやアプリケーションが失われても、HotSync することでバックアップしたデータが復帰します。

ご注意

- HotSync では、クリエ本体にあらかじめインストールされていなかったアプリケーションや、一部のアプリケーションのデータおよび設定情報のバックアップができない場合があります。
  「Memory Stick Backup」を使うと、クリエ本体のデータやアプリケーションをバックアップすることができます。
  確実なバックアップのためには、「Memory Stick Backup」を使って定期的にバックアップを行ってください。
- HotSync でデータを復元する場合は、ハードリセットを行ったあと、すみやかにHotSync を実行してください。HotSync を実行する前にクリエ上でデータを作成した場合、データ復元時にデータが失われることがあります。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「パソコンとクリエを同期させる」をご覧ください。

よくあるお問い合わせと解決方法

ここでは、代表的なお問い合わせとその解決方法を紹介しています。

➡ **インターネットに関するトラブルについて詳しくは、**別冊「インターネット接続ガイド」をご覧ください。

基本設定のトラブル（71 ページ）

- 電源が入らない
- POWER LED は点灯しているが画面が表示されない
- 操作に反応しなくなった
- 音が出ない
- 画面が見づらい
- 再起動（リセット）したあとに、正常に動作しない

エラーメッセージが表示される（73 ページ）

- エラーメッセージが表示される

入力がうまくできない（74 ページ）

- 手書き文字が認識されない／認識されにくい（デクマ手書き入力時）
- 手書き文字が認識されない／認識されにくい（Graffiti 2 入力時）
- ボタンやアイコンをタップしても、タップ先と異なる機能が有効になる

パスワードを忘れた（75 ページ）

- クリエがロックされている場合は
- クリエがロックされていない場合は

HotSync に関するトラブル（75 ページ）

- HotSync できない（ローカル HotSync）
- HotSync ボタンを押しても、HotSync が始まらない
- HotSync を途中で終了できない
- HotSync に時間がかかる
- HotSync でデータが同期されないアプリケーションがある
- HotSync してもパソコンにバックアップされないデータがある
- CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動しない、メニューから選択できない
- CLIE Organizer for PC ソフトウェアが起動しない、メニューから選択できない
- HotSync マネージャが起動しない（デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）に アイコンが表示されない）
- ワイヤレス LAN 経由で HotSync できない

赤外線通信ができない（79 ページ）

- はじめに確認してください
- 他の Palm OS 搭載機器から転送したファイル／データをクリエに移行できない

周辺機器が認識されない(80 ページ)

CLIE Update Wizard に関するトラブル(80 ページ)

- アップデートプログラムがクリエにインストールされない
- 「新しいアップデートはありませんでした」と表示された
- インストールツールにアップデートプログラムを登録できない
- 自動的にアップデートプログラムのチェックが始まる
- ダウンロードに非常に時間がかかる
- アップデートプログラムが「インストールマネージャ」画面に表示されない
- ハードリセットを行ったあと、クリエにアップデートプログラムがインストールされていない

動画に関するトラブル (Media Launcher Movie)(82 ページ)

- CLIE MP4、QuickTime 形式の動画でタイトル変更などができない
- 「Media Launcher Movie」で、MP4 準拠の動画ファイル、QuickTime 形式の動画ファイルが再生できない
- 「Media Launcher Movie」のリスト画面で、CLIE MP4 形式、QuickTime 形式の動画ファイルのタイトルやサムネイルがきちんと表示されない

音楽再生ができない(Media Launcher Music)(84 ページ)

- 再生音が出ない
- 再生音がとぎれたり雑音が混ざる
- 他のアプリケーションを使用中に再生ができない
- MP3 のファイルが認識されない/再生できない
- クリエとパソコンを接続しても、「SonicStage」がクリエを認識しない
- パソコンに接続後、ドライブは表示されるが、内容が見えない
- 接続中の動作が安定しない
- クリエ本体の操作音がしない
- 他の機器で使っていた"メモリースティック"や CF メモリーカードが使えない
- "メモリースティック"や CF メモリーカードを挿入したあと、しばらく操作できない

"メモリースティック"などの記録メディアが使えない(86 ページ)

- "メモリースティック"や CF メモリーカードが認識されない/エラーが発生する
- 記録メディア内のファイル/データを、クリエ本体にコピー/移動できない
- 記録メディア内のアプリケーションが起動できない

ファイル/データを転送できない(87 ページ)

- 受信した静止画を別名で保存できない

次のページにつづく

基本アプリケーション（CLIE Organizer）の使いかたがわからない（87 ページ）

- 予定表のデータを削除できない
- インポートできない／エクスポートできない
- 予定表のデータを他の Palm OS 搭載機器と正しく送受信できない
- 予定表に入力できない
- 「予定表」の「カレンダー」画面で［今日］をタップしても、今日の日付が表示されない
- 予定表に六曜を表示できない
- 六曜データを自分で作成できない
- 休日を設定できない
- vCard をインポートできない／受信できない
- 「手書きメモ」に貼り付けた動画ファイルを受信できない
- 「メモ帳」にインポートしたメモが 1 つのメモにすべて表示されない
- 「メモ帳」のデータを正しく送信できない

Palm 標準の PIM の使いかたがわからない（90 ページ）

- 「予定表」の「カレンダー」画面で［今日］をタップしても、今日の日付が表示されない
- 入力したデータがアプリケーションで表示されない
- メモを並び替えられない
- クリエの「アドレス」から vCard データが転送できない

基本設定のトラブル

電源が入らない

▶ POWER/HOLD スイッチが HOLD 状態(103 ページ)になっていませんか?
HOLD 状態では操作を受け付けなくなります。HOLD 状態を解除してください。

ご注意

HOLD 状態でアプリケーションボタン、ディスクジョグ、BACK ボタン、データ活用ボタンを操作すると POWER LED が点滅しますが、クリエ本体は起動しません。

▶ バッテリが消耗していませんか?
クリエをクレードルに取り付けて、数分後に電源を入れてみてください。電源が入るようであれば、そのまま充電し、充電完了後にソフトリセット(64 ページ)を行ってください(通常は充電完了まで約 5 時間以上かかります)。

▶ クリエとクレードルのコネクタが汚れていませんか?
コネクタが汚れていると充電されないことがあります。2、3 回クリエをクレードルに取り付け直してみてください。コネクタの汚れが清掃されます。

▶ RESET ボタンを押してソフトリセット(64 ページ)を行ってください。

POWER LED は点灯しているが画面が表示されない

▶ POWER/HOLD スイッチが HOLD 状態(103 ページ)になっていませんか?
HOLD 状態になると画面が表示されません。HOLD 状態を解除してください。

▶ ゆっくり点滅している場合はスクリーンオフ機能(28 ページ)が働いています。

▶ 減光モードが「入」の場合、画面が暗くなります(103 ページ)。その場合は POWER / HOLD スイッチを POWER 方向に 2 秒以上スライドさせると減光モードが「切」になり、画面の明るさが元の設定に戻ります。

▶ RESET ボタンを押してソフトリセット(64 ページ)を行ってください。

操作に反応しなくなった

▶ POWER/HOLD スイッチが HOLD 状態(103 ページ)になっていませんか?
HOLD 状態では操作を受け付けなくなります。HOLD 状態を解除してください。

▶ クリエをパソコンの赤外線通信ポートの近くに置いていませんか?
誤動作の原因となる場合がありますので、赤外線 HotSync をするとき以外はクリエをパソコンの赤外線通信ポートの近くに置かないでください。またはクリエの「環境設定」画面の[一般]で[赤外線通信の受信]を[オフ]にしてください。

▶ RESET ボタンを押してソフトリセット(64 ページ)を行ってください。

▶ 画面に液晶保護シートまたはプライバシーフィルターを貼っていると正確に動作をしないことがあります。いったん剥がしてから操作を行ってください。

次のページにつづく

音が出ない

▶「環境設定」画面の[一般]で[システム音]の設定が[オフ]になっていませんか？

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：各種の操作音の設定を変更する」をご覧ください。

▶ ステータスバー（109 ページ）のボリューム調整アイコンをタップして表示される「ボリューム調整」画面で、各項目の設定を確認してください。

ヒント

「ボリューム調整」画面（110 ページ）の[消音]を ☑ にすると、音声や動画などの各アプリケーション上でのボリューム設定にかかわらず、すべての音が消音になります。

画面が見づらい

▶ 見る角度によって明るさのムラが出る場合がありますが、故障ではありません。調節するには Graffiti 2 入力エリアの上にある、明るさ調節アイコンをタップして表示される、「明るさの調整」画面で調節してみてください。

▶ 減光モードが「入」になっている場合は、POWER/HOLD スイッチを POWER 方向に 2 秒以上スライドして「切」にさせてみてください。

再起動（リセット）したあとに、正常に動作しない

▶ ソフトリセット（64 ページ）またはハードリセット（65 ページ）をしたあとで、アプリケーションが正常に動作しない、一部のアプリケーションの表示がおかしい、ソフトリセットを何度行っても途中で動作が止まってしまうなどの症状が起こる場合は、リセットが正常に完了していない可能性があります。もう 1 度リセットを行ってください。ソフトリセットで症状が解消されない場合は、ハードリセットを行ってください。

リセット実行時のご注意

- リセット実行後、「環境設定」画面、または「初期設定」画面が表示されるまでは、再度 RESET ボタンを押さないでください。
- ハードリセットを行うと、これまでに記録したデータや、追加インストールしたアプリケーションはすべて消去されます。

エラーメッセージが表示される

エラーメッセージが表示される

▶ RESETボタンを押してソフトリセット（64ページ）を行ってください。

▶ クリエ本体のメモリおよび記録メディア（"メモリースティック"、CFメモリーカードおよび内蔵メディア）の空き容量が不足していると、アプリケーションによっては正しく動作しない場合があります。必要に応じてバックアップをしたあと、追加インストールしたアプリケーションや不要なファイル／データを削除してください。

ヒント

クリエ本体のメモリおよび記録メディアの空き容量は、ステータスバー（109ページ）のメディア情報 アイコンをタップして表示される「メディア情報」画面で、[デバイス]の▼をタップして確認することができます。

➡ 追加インストールしたアプリケーションの削除について詳しくは、パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「アプリケーションを追加して機能を拡張する：インストールする：追加インストールしたアプリケーションを削除する」をご覧ください。

不要なファイル／データを削除するには

「予定表」の場合：[予定表]メニューから[古い予定の破棄]を選ぶ。

「To Do」の場合：[To Do]メニューから[完了した項目の破棄]を選ぶ。

「CLIE Mail」の場合：古い送受信メールを削除する。
さらに、[メール]メニューから[ゴミ箱を空に]を選ぶ。

入力がうまくできない

手書き文字が認識されない／認識されにくい(デクマ手書き入力時)

▶ パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「デクマ手書き入力」をご覧の上、もう 1 度書いてみてください。

▶ 標準モードで書いた文字が認識されない、または認識されにくい場合は、他のモードに切り換えてください。

かなモードでは、ひらがなとカタカナが標準モードより認識されやすくなっています。また、英数モードでは、アルファベットと数字が標準モードより認識されやすくなっています。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：デクマ手書き入力で文字を入力する」、またはパソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「デクマ手書き入力」をご覧ください。

手書き文字が認識されない／認識されにくい(Graffiti 2 入力時)

▶ Graffiti 2 で文字を入力するには、Graffiti 2 文字を使用する必要があります。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：Graffiti 2 で文字を入力する」をご覧ください。

▶ Graffiti 2 文字は、Graffiti 2 入力エリアの中に書きます。

▶ 文字は Graffiti 2 入力エリアの下側、数字は Graffiti 2 入力エリアの上側に書きます。

▶ Graffiti 2 文字が記号モードになっていないかどうかを確認します。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：Graffiti 2 で文字を入力する」をご覧ください。

▶ "L" に対応するコマンドがあるアプリケーションでは、"I"、"K"、"T"、"X" に対応するコマンドをコマンドツールバーから入力することはできません。

▶ より速く正確に Graffiti 2 文字を入力するためのヒントについて

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：Graffiti 2 で文字を入力する」をご覧ください。

▶ デジタイザが正しく調整されていないと、Graffiti 2 文字が正確に認識されない場合があります。「環境設定」画面の[デジタイザ]でデジタイザの設定を行ってください。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する(環境設定)：入力位置を調整する(デジタイザ調整)」をご覧ください。

ボタンやアイコンをタップしても、タップ先と異なる機能が有効になる

▶ デジタイザを正しく調整してください。

「環境設定」画面の[デジタイザ]でデジタイザの設定を行ってください。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する(環境設定)：入力位置を調整する(デジタイザ調整)」をご覧ください。

▶ 画面に液晶保護シートまたはプライバシーフィルターを貼っていると正確に認識されないことがあります。

パスワードを忘れた

クリエがロックされている場合は

▶ ハードリセットを行って、クリエ本体に保存されているデータをすべて消去する必要があります。（ハードリセットを行うと、クリエ本体はお買い上げ時の状態に戻り、データや追加インストールしたアプリケーションは消去されます）

➡ **詳しくは、**「クリエの基本操作：本機を再起動する」（64 ページ）をご覧ください。

クリエがロックされていない場合は

▶ データ保護機能を利用して、パスワードを削除します。

この場合、クリエでプライベートデータに指定しているすべてのデータは削除されます。ただし、パスワードを削除する前に HotSync することで、プライベートデータを含むすべてのデータのバックアップをとることができます。

パスワードを削除したあとで、パソコンに保存されているプライベートデータを復元するには、HotSync を行ってクリエのデータをすべてパソコンに保存してから、下記の手順で操作します。

1 **「データ保護」画面で［パスワード］をタップし、表示された「パスワード」画面で［忘れた場合］をタップする。**
「パスワードの削除」画面が表示されます。

2 **［はい］をタップする。**
パスワードとすべてのプライベートデータが削除されます。

3 HotSync **を行い、プライベートデータを復元する。**

HotSync に関するトラブル

HotSync できない（ローカル HotSync）

クリエ側の確認

▶ クリエとクレードルのコネクタが汚れていませんか？

汚れている場合は、2、3 回クリエをクレードルに取り付け直してください。

▶ クリエがクレードルに正しく取り付けられていますか？（22 ページ）

▶ クリエ本体のメモリに充分な空き容量がありますか？

不要なデータを消去してもう 1 度 HotSync を行ってください。

▶ すでにお使いのクリエと同じユーザー名にしていませんか？

ユーザー名を変更してください。

次のページにつづく

パソコン側の確認

▶ CLIE Palm Desktop ソフトウェアおよび CLIE Organizer for PC ソフトウェアがインストールされていますか？

ご注意

CLIE Organizer for PC ソフトウェアは、CLIE Palm Desktop ソフトウェアがインストールされていないとインストールできません。

▶ パソコンの OS が対応していますか？

下記の OS に対応しています。それ以外の OS はサポート対象外です。

- Microsoft Windows 2000 Professional
- Microsoft Windows XP Home Edition
- Microsoft Windows XP Professional

ご注意

本機はアップグレード版の OS についてはサポートしておりません。

▶ パソコンに Administrator 権限でログオンしていますか？

ログオンユーザー名は必ず半角英数字で入力してください。

▶ クレードルの USB コネクタがパソコンに正しく接続されていますか？(22 ページ)

▶ デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）に アイコンが表示されていますか？

表示されていない場合は、デスクトップ画面左下の［スタート］メニューから［プログラム］（Windows XP では［すべてのプログラム］）－［SONY CLIE］－［HotSync マネージャ］の順にクリックして、HotSync マネージャを起動します。

▶ デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして表示されたメニューの［ローカル USB］にチェックがついていますか？

チェックがついていなければ、クリックしてチェックをつけます。

▶ USB 端子が有効になっていますか？

USB マウスなど他の USB 機器をつないで、USB 端子が正常に動作するかどうかを確認してください。

また、付属のインストール CD-ROM の［クリエ基本ソフトウェア］から［HotSync の動作確認］の［USB Checker］を実行して、USB 端子が正常に動作しているか確認してください。

▶ ポートリプリケーターなどのノートパソコン用端子拡張製品をお使いの場合、ポートリプリケーターかパソコン本体の USB 端子のどちらかが使えない場合があります。

▶ CLIE Organizer for PC（または CLIE Palm Desktop）ソフトウェア以外のアプリケーションが起動している場合は、それらのアプリケーションを終了してください。

以上を確認しても HotSync ができない場合は、RESET ボタンを押してソフトリセット（64 ページ）を行ってください。

HotSyncについての個別のトラブルは以下の項目をご覧ください。

HotSync ボタンを押しても、HotSyncが始まらない

▶ クリエのHotSync設定が[ローカル]に設定されていて、[クレードル／ケーブル]が選択されていることを確認します。

▶ RESETボタンを押してソフトリセット（64ページ）を行ってください。

HotSyncを途中で終了できない

▶ クレードルでのHotSync開始後の数十秒間は、[キャンセル]をタップしても途中で終了できないことがあります。しばらく待ってから、再度お試しください。

▶ HotSync中にクリエをクレードルから取りはずしたりすると、HotSyncを正常に終了できない場合があります。その場合は、クリエをソフトリセット（64ページ）してください。

▶ [キャンセル]をタップしても終了できない場合は、クリエをソフトリセット（64ページ）してください。

HotSyncに時間がかかる

▶ アプリケーションによっては、取り扱うファイル／データが大きいため、HotSyncに時間がかかることがあります。

HotSyncでデータが同期されないアプリケーションがある

▶ CLIE Organizer for PCソフトウェアおよびCLIE Palm Desktopソフトウェアと、クリエのユーザー名が違っていませんか？

お使いのクリエと同じユーザー名をパソコンのCLIE Organizer for PC（またはCLIE Palm Desktop）ソフトウェア側で選んでください。

▶ 同期しない設定になっていませんか？

デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）の アイコンをクリックして、表示されたメニューから[動作設定]を選びます。同期させたいアプリケーションを[ファイルの同期]に設定してください。

▶ バックアップや同期を行う他社製ソフトウェアをパソコン、またはクリエにインストールしていませんか？

ファイル／データによっては、CLIE Organizer for PC（またはCLIE Palm Desktop）ソフトウェア側ですべてのアプリケーションの同期ができないことがあります。

▶ 「Intellisync Lite for Sony CLIE」をパソコンにインストールすると、クリエの「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」を「Microsoft Outlook」と同期できるようになります。

ただし、「Intellisync Lite for Sony CLIE」で「予定表」、「アドレス」、「To Do」、「メモ帳」を「Microsoft Outlook」と同期する設定にしてあると、CLIE Organizer for PCソフトウェアやCLIE Palm Desktopソフトウェアとは同期できません。その場合は、「Intellisync Lite for Sony CLIE」の設定を解除してください。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Intellisync Lite for Sony CLIE」をご覧ください。

次のページにつづく

▶ クリエ本体のメモリに充分な空き容量がありますか？

不要なファイル／データを消去して、もう 1 度 HotSync を行ってください。

▶「データ保護」画面でプライベートデータを非表示にしていませんか？

非表示にしたデータは CLIE Organizer for PC（または CLIE Palm Desktop）ソフトウェア上でも表示されません。表示したい場合は「データ保護」画面の[現在の設定]で[データを表示]を選び、パスワードを入力します。

HotSync してもパソコンにバックアップされないデータがある

▶ HotSync では、クリエ本体にあらかじめインストールされていなかったアプリケーションや、一部のアプリケーションのデータおよび設定情報のバックアップができない場合があります。

「Memory Stick Backup」を使うと、クリエ本体のデータやアプリケーションをバックアップすることができます。

確実なバックアップのためには、「Memory Stick Backup」を使って定期的にバックアップを行ってください。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Memory Stick Backup」をご覧ください。

CLIE Palm Desktop ソフトウェアが起動しない、メニューから選択できない

▶ CLIE Palm Desktop ソフトウェアが正しくインストールされましたか？

お使いのパソコンのハードウェアまたはソフトウェアとの相性が考えられます。CLIE Palm Desktop ソフトウェアをアンインストールして、もう 1 度インストールしてください。

CLIE Organizer for PC ソフトウェアが起動しない、メニューから選択できない

▶ CLIE Organizer for PC ソフトウェアが正しくインストールされましたか？

お使いのパソコンのハードウェアまたはソフトウェアとの相性の問題が考えられます。CLIE Organizer for PC ソフトウェアをアンインストールして、もう 1 度インストールしてください。

▶ パソコンに CLIE Palm Desktop ソフトウェアがインストールされていますか？

CLIE Organizer for PC ソフトウェアは、CLIE Palm Desktop ソフトウェアがパソコンにインストールされていないと、インストールすることはできません。

また、CLIE Palm Desktop ソフトウェアがインストールされていないと、CLIE Organizer for PC ソフトウェアは起動できません。

HotSync マネージャが起動しない（デスクトップ画面右下のタスクトレイ（通知領域）に アイコンが表示されない）

▶ CLIE Palm Desktop ソフトウェアを再インストールしてください。

ワイヤレス LAN 経由で HotSync できない

▶ 1 度 HotSync を行うと、「HotSync」画面の［オプション］メニューから［プライマリ パソコンの設定］をタップして表示される、「プライマリ パソコンの設定」画面の［プライマリ パソコン名］に、HotSync を行ったパソコン名が表示されます。

次にワイヤレス HotSync を行うときは、このプライマリパソコン名を削除しないと HotSync を行えません。

ヒント

- ［プライマリ パソコン名］に「!!」を記入すれば、プライマリパソコン名を毎回削除する必要はありません。
- ワイヤレス LAN 機能を使って HotSync を行うには、ワイヤレス LAN の設定が正しく行われている必要があります。

➡ **詳しくは、**別冊「インターネット接続ガイド」の「困ったときは：インターネットが使えない：ワイヤレス LAN でインターネットに接続できない」に従って、設定を確認してください。

赤外線通信ができない

はじめに確認してください

▶「環境設定」画面の［一般］で、［赤外線通信の受信］が［オン］になっていることを確認してください。

▶ 機器同士の赤外線通信ポートが向き合っていますか？

クリエと通信する Palm OS 搭載機器の赤外線通信ポートが正面を向くように置いてください。

▶ 機器間の距離が合っていますか？

本機ともう 1 台の Palm OS 搭載機器との距離を 10 ～ 20cm の範囲内にして、2 台の間に障害物がないことを確認します。機器間の相性によって、最適な通信距離が異なる場合があります。距離を変えてお試しください。

▶ 赤外線通信で、複数のファイルを同時に送信すると、ファイルの名称と中身が入れ換わってしまうことがあります。ファイルを 1 つずつ選択して送信するようにしてください。

他の Palm OS 搭載機器から転送したファイル／データをクリエに移行できない

▶ ネットコミュニケーションカスタマーリンクの「Q&A Search」で「データを移行する」を検索し、検索結果の中から該当する項目を参照してください。

http://search.nccl.sony.co.jp/pc/

周辺機器が認識されない

▶ クリエの電源を切ったあと、周辺機器を 1 度取りはずし、もう 1 度接続してみてください。

▶ 周辺機器の最新対応状況については、ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報から、機種名を選択してご覧ください。
http://www.nccl.sony.co.jp/

CLIE Update Wizard に関するトラブル

インストール時のトラブル

アップデートプログラムがクリエにインストールされない

▶「CLIE Update Wizard」の[CLIE]タブ画面で、アップデートプログラムをインストールツールに登録したあと、HotSync を行いましたか？
HotSync を行わないと、アップデートプログラムはクリエにインストールされません。

▶ クリエをハードリセットしていませんか？
クリエでハードリセットを行うと、「CLIE Update Wizard」でインストールしたアップデートプログラムはクリエから消去されます。
１度インストールしたアップデートプログラムをクリエに再度インストールするには、[CLIE]タブ画面の[パッケージ名]リストで青い点の付いているアップデートプログラムの ☐ をクリックして ☑ にしてください。

アップデート時のトラブル

「新しいアップデートはありませんでした」と表示された

▶ 現在利用可能なアップデートプログラムはすでに全部ダウンロードされています。
ダウンロード後に削除してしまったアップデートプログラムは、[編集]メニューから[削除したアップデートのリストア]をクリックして表示される画面で確認できます。

インストールツールにアップデートプログラムを登録できない

▶ [CLIE]タブ画面の[パッケージ名]リストにある HotSync チェックボックス欄で、クリエにインストールしたいアップデートプログラムが ☑ になっていることを確認してください。

自動的にアップデートプログラムのチェックが始まる

▶「自動アップデートの設定」機能が選択されています。解除するには、[オプション]メニューから[自動アップデートの設定]をクリックして、[自動アップデートを使用する]の ☑ をクリックして ☐ にしてください。

ダウンロードに非常に時間がかかる

▶ 回線の状況などにより、画面に表示されている残り時間よりも長くかかることがあります。

しばらく待ってからもう1度接続してください。またはプロバイダの設定を変更するか、別のプロバイダを利用して、ダウンロードの速度を上げてください。

HotSyncでの登録時のトラブル

アップデートプログラムが「インストールマネージャ」画面に表示されない

▶［CLIE］タブ画面の［パッケージ名］リストにあるHotSyncチェックボックス欄で、クリエにインストールしたいアップデートプログラムが☑になっているか確認してください。

次に［インストールツールに登録］をクリックして、これらのアップデートプログラムが「インストールマネージャ」画面に表示されていることを確認してください。

ハードリセット時のトラブル

ハードリセットを行ったあと、クリエにアップデートプログラムがインストールされていない

▶ ハードリセットを行うと、クリエでこれまでに記録したデータや追加インストールしたアプリケーションはすべて消去されます。

ハードリセットを行った場合は、"メモリースティック"に作成したバックアップまたは内蔵メディアに作成したコピー（「Memory Stick Backup」を使用した場合）からクリエに戻すか、パソコンにあるバックアップからHotSyncでクリエに戻してください。

➡ **「Memory Stick Backup」およびHotSyncによるバックアップについて詳しくは、**「クリエのデータやアプリケーションをバックアップする」（67ページ）をご覧ください。

また、クリエに追加インストールしたアプリケーションは、HotSyncではパソコンにバックアップされていない場合があります。その場合は再インストールを行ってください。

➡ **アプリケーションのインストールのしかたについて詳しくは、**「準備する：付属アプリケーションをインストールする」（25ページ）をご覧ください。

必要なアプリケーションをクリエに再インストールしたら、以下の手順に従って「CLIE Update Wizard」からアップデートプログラムを再インストールしてください。

1 パソコンで「CLIE Update Wizard」を起動する。

2 ［CLIE］タブ画面を選択し、［パッケージ名］リストにインストールしたいアップデートプログラムが表示されていることを確認する。

3 アップデートプログラムのHotSyncチェックボックス欄が、すべて☑になっていることを確認する。

次のページにつづく

4 [インストールツールに登録]をクリックする。
「インストールマネージャ」画面が表示され、選択したアップデートプログラムが表示されます。

5 [実行]をクリックする。
HotSync でインストールされるアップデートプログラムとして登録されます。

6 HotSync を行う。

7 HotSync が完了したら、クリエの「HotSync」画面の[ログ]をタップして HotSync 中にエラーが起こっていないことを確認する。
これで、ハードリセットを行う前にクリエに記録されていたデータや追加インストールされていたアプリケーションが復帰しました。

ご注意

バックアップしたデータやアプリケーションをクリエ本体に戻すと、クリエに保存されていたデータやアプリケーションはバックアップを行った時点の情報で上書きされます。バックアップ後にクリエで追加／編集を行った情報は消えてしまいますのでご注意ください。

動画に関するトラブル (Media Launcher Movie)

CLIE MP4*、QuickTime 形式 ** の動画でタイトル変更などができない

*「Image Converter 2 for CLIE MP4」で作られた動画ファイルのみ再生できます。
** モバイルムービー機器向けの動画ファイルのみ再生可能です。

※モバイルムービー機器で扱う動画ファイルには QuickTime 形式を使用しています。

▶ 以下のいずれかの場合はタイトル変更、ファイルの削除ができません。

- “メモリースティック”の書き込み禁止のタブが書き込み禁止(「LOCK」側)になっている。
- CLIE MP4、QuickTime 形式のファイルが読み込み専用になっている。
- 付加情報ファイル(.MAI ファイル)が読み込み専用になっている。

また、以下のいずれかの場合はインデックス登録／削除、レジューム時間の更新、サムネイル更新ができません。

- “メモリースティック”の書き込み禁止のタブが書き込み禁止(「LOCK」側)になっている。
- 付加情報ファイル(.MAI ファイル)が読み込み専用になっている。

また、以下のいずれかの場合はプレイリスト編集ができません。

- “メモリースティック”の書き込み禁止のタブが書き込み禁止(「LOCK」側)になっている。
- プレイリストファイル(MQV_LIST.TXT、MP4_LIST.TXT)が読み込み専用になっている。

「Media Launcher Movie」で、MP4 準拠の動画ファイル、QuickTime 形式の動画ファイルが再生できない

▶「Media Launcher Movie」では、以下のファイル以外は再生できません。

- パソコン上で「Image Converter 2 for CLIE MP4」を使って変換した CLIE MP4 形式の動画ファイル
- ソニー製モバイルムービー対応機器で録画された QuickTime 形式の動画ファイル
- 他のクリエの一部機種に付属の「Image Converter」で変換した、QuickTime 形式の動画ファイル

「Media Launcher Movie」のリスト画面で、CLIE MP4 形式、QuickTime 形式の動画ファイルのタイトルやサムネイルがきちんと表示されない

▶ 動画ファイル再生に使ったことのある記録メディアに新しい動画ファイルを上書きした場合、以前の動画ファイルのタイトルやサムネイルの情報が残っている可能性があります。以下の方法で対処してください。

- 動画ファイルを上書きする前に、記録メディア内に保存されている「付加情報ファイル」（拡張子 .MAI）を削除してください。クリエを使って削除する場合は「CLIE Files」をお使いください。
- 一度ご覧になった動画ファイルをパソコンに保存する場合は、以下のいずれかの方法で保存してください。
  - 「Data Import」を使う
  - 記録メディアからパソコンに直接コピーする場合は、コピーしたい動画ファイルのファイル名と同じヘッダを持った「付加情報ファイル」（拡張子 .MAI）を同時にコピーする

ヒント

CLIE MP4 形式および QuickTime 形式の動画ファイルに対応した付加情報ファイル（.MAI ファイル）のファイル名と保存ディレクトリは、それぞれ以下のようになります。

ファイル名

	ファイル名	対応する .MAI ファイル名
CLIE MP4 形式	M4V000001.MP4 ～ M4V09999.MP4	M4V000001.MAI ～ M4V09999.MAI
QuickTime 形式	MOV000001.MQV ～ MOV09999.MQV	MOV000001.MAI ～ MOV09999.MAI

.MAI ファイルの保存ディレクトリ

CLIE MP4 形式	PALM/PROGRAMS/MoviePlayer/100MNV01/
QuickTime 形式	PALM/PROGRAMS/MoviePlayer/100MQV01/

音楽再生ができない(Media Launcher Music)

再生について

再生音が出ない

▶ 音量を上げてください。

▶ 消音の設定になっていないか確認してください。

➡ **詳しくは、**「音が出ない」(72 ページ)をご覧ください。

再生音がとぎれたり雑音が混ざる

▶ 音楽再生中にクリエの他のアプリケーションを使用したりデータの処理を行ったりすると、再生音に雑音が混ざることがあります。

他のアプリケーションを使用中に再生ができない

▶ 「Media Launcher Music」の[オプション]メニューから[設定]をタップして表示される「プレーヤーの設定」画面で、[他のアプリケーション利用時に再生する]の □ をタップして ☑ にしてください。

▶ 次のアプリケーションを使用中は「Media Launcher Music」を使えません。

- Media Launcher Movie(動画ファイルの再生中)
- CLIE Mail (メールの送受信中)

MP3 のファイルが認識されない/再生できない

▶ MP3 ファイルが記録メディアの「/PALM/Programs/MSAUDIO」フォルダ内にコピーされているか確認してください。

▶ 本機で再生できるフォーマットであるか確認してください。

➡ **本機で再生できるフォーマットについて詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエアプリケーションマニュアル」の「Media Launcher Music」をご覧ください。

▶ VBR(可変ビットレート)でエンコードされたファイルは再生できません。

[ツール]メニューの「曲について」画面でビットレートが 0 kbps と表示されているものは VBR でエンコードされたファイルです。

➡ **本機で再生できるフォーマットについて詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエアプリケーションマニュアル」の「Media Launcher Music」をご覧ください。

パソコンとの接続について

クリエとパソコンを接続しても、「SonicStage」がクリエを認識しない

▶ クリエとパソコンが正しく接続されているか確認してください。

▶ マジックゲートに対応した"メモリースティック"が必要です。お使いの"メモリースティック"がマジックゲート対応であることを確認してください。

▶ OpenMG の認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。

▶ クリエの「Media Launcher Music」で、[オプション]メニューから[曲転送]を選択してください。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「Media Launcher Music」をご覧ください。

▶ もう 1 度パソコンに接続し直してください。

それでも解決しない場合は、パソコンを再起動してください。

パソコンに接続後、ドライブは表示されるが、内容が見えない

▶ "メモリースティック"や CF メモリーカードを挿入してから、再度接続してください。

接続中の動作が安定しない

▶ USB ハブ、または USB 延長ケーブルを使用してクリエをパソコンに接続している場合は、動作の保証はできません。クレードルの USB コネクタは直接パソコンの USB 端子に接続してください。

その他

クリエ本体の操作音がしない

▶ ヘッドホンをクリエにつないでいると、クリエ本体のシステム音やアラーム音、ゲーム音はヘッドホンからのみ聞こえます。

▶ 「Media Launcher」の起動中は、システム音は発生しません。

▶ 消音の設定になっていないか確認してください。

他の機器で使っていた"メモリースティック"や CF メモリーカードが使えない

▶ パソコンなどで初期化(フォーマット)してある"メモリースティック"や CF メモリーカードは、必要なファイル/データをパソコンなどにコピーした上で、クリエで初期化し直してください。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ アプリケーションマニュアル」の「CLIE Files」をご覧ください。

▶ CF スロット用ハードディスクドライブは使用できません。万一使用した場合、データの消失や故障の原因となります。

▶ 2GB を超える容量の"メモリースティック"および CF メモリーカードは使用できません。

次のページにつづく

“メモリースティック”やCFメモリーカードを挿入したあと、しばらく操作できない

▶ 多くの曲を記録している“メモリースティック”を挿入すると、しばらく操作できないことがありますが、故障ではありません。「Media Launcher Music」画面に曲名が表示されるか、“メモリースティック”ランプが消えるまでしばらくお待ちください。

▶ CFメモリーカードの場合、挿入してから操作ができるようになるまで“メモリースティック”よりも若干時間がかかることがありますが、故障ではありません。そのまましばらくお待ちください。

“メモリースティック”などの記録メディアが使えない

“メモリースティック”やCFメモリーカードが認識されない／エラーが発生する

▶ “メモリースティック”やCFメモリーカードを1度取り出し、もう1度挿入してみてください。

▶ “メモリースティック”の端子部に汚れが付着していると、ファイル／データの読み書きができない場合があります。“メモリースティック”の端子部を綿棒などで清掃してください。

▶ クリエ以外の機器で初期化（フォーマット）した“メモリースティック”やCFメモリーカードは使用できない場合があります。クリエで初期化（フォーマット）してください。

▶ クリエのバッテリ残量が少ないと、“メモリースティック”やCFメモリーカード内のファイル／データを表示できないことがあります。その場合はクリエを充電してください。

記録メディア内のファイル／データを、クリエ本体にコピー／移動できない

▶ クリエ本体にコピーや移動ができるのは、拡張子が.prcと.pdbのデータのみです。

▶ クリエ本体のメモリの空き容量が足りていますか？

記録メディア内のファイル／データをクリエ本体にコピーまたは移動するには、コピーまたは移動したいファイル／データと同じくらいの空きメモリがクリエ本体に必要です。

クリエ本体の不要なデータを削除してください。

記録メディア内のアプリケーションが起動できない

▶ クリエ本体のメモリの空き容量が足りていますか？

「Application」画面から記録メディア内のアプリケーションを起動する場合は、クリエ本体にアプリケーションの容量と同じくらいの空きメモリが必要です。

クリエ本体の不要なデータを削除してください。

▶ アプリケーションのインストール先に記録メディアを選択し、正しく HotSync が行われたかどうかを確認してください。

正しくインストールされている場合は、「CLIE Files」を使って記録メディア内のアプリケーションをクリエ本体にコピーまたは移動してください。

▶ 本機付属のアプリケーションは、記録メディアからの起動をサポートしておりません。

ファイル／データを転送できない

受信した静止画を別名で保存できない

▶ 赤外線通信で受信した静止画は、送信元の静止画の名前から変更して保存することはできません。そのため、クリエ本体に同じ名前のファイルがある場合は上書きで保存されます。ただし、記録メディアに JPEG 形式のファイルを保存する場合は、自動的に別の名前がつけられて保存されます。

基本アプリケーション（CLIE Organizer）の使いかたがわからない

予定表

予定表のデータを削除できない

▶ 「予定表」画面上に貼り付けた画像や動画をはがしても、予定に入力した内容は削除できません。

「予定の詳細」画面で削除してください。

▶ 予定を削除しても、「予定表」画面上に書いた手書き入力や貼り付けた画像などのデータは削除できません。

次のページにつづく

インポートできない／エクスポートできない

▶ インポート／エクスポートできるデータ形式は、vCalendar形式のファイル（拡張子が.vcs）です。

それ以外の形式では、一部の項目がクリエにインポートできない場合があります。

また、vCalendar形式のファイルであっても、相手の機器（パソコンや携帯電話など）によってはクリエにインポート／エクスポートできない場合があります。

予定表のデータを他のPalm OS搭載機器と正しく送受信できない

▶ 予定表に設定した色やアイコンなどのデータは、CLIE Organizer搭載機器にのみ送受信が可能です。

▶「予定表」画面上に貼り付けた画像やシールなどのデータや、書き込んだ手書き入力、および「予定の詳細」画面で貼り付けた手書きメモは、他の機器（CLIE Organizer搭載機器を含む）と送受信することはできません。

予定表に入力できない

▶ 予定表に入力できる最大のデータ容量を越えています。不要な手書き線やデータを削除してください。

「予定表」の「カレンダー」画面で[今日]をタップしても、今日の日付が表示されない

▶ クリエの日付が正しく設定されていますか？

「環境設定」画面の[日付と時刻]で、今日の日付が正しく表示されているかどうかを確認してください。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：日付／時刻を合わせる」をご覧ください。

予定表に六曜を表示できない

▶「六曜」画面で、[六曜を表示する]が ☑ になっているかどうか確認してください。

六曜データを自分で作成できない

▶ 六曜データを自分で作成することはできません。

休日を設定できない

▶ 休日の設定は日付の指定のみ可能です。「第何週目の何曜日」のように、日付以外の設定はできません。

ご注意

[休日情報]メニューの[過去の休日参照]を利用して休日を設定した場合、「成人の日」や振替休日のように、年によって日付の異なる休日は、実際の日付とずれることがあります。

▶ 国ごとの公的な休日など、休日をまとめて設定するには登録用のデータがクリエにインストールされている必要があります。

▶ [休日情報]メニューの[過去の休日参照]を利用するには、すでに設定済みの休日情報が必要です。

▶ 同じ日に 2 つ以上の休日を設定しようとしていませんか？

1 日に対して設定できる休日は 1 つまでです。

アドレス

vCard をインポートできない／受信できない

▶ Palm OS 5.x 搭載のクリエ以外の機器で vCard をインポートする場合は、インポートする機器が対応している vCard のバージョンを確認してください。クリエから vCard をエクスポートするときには、同じバージョンを選択してください。

▶ Palm OS 5.x 搭載のクリエ以外の機器に vCard を赤外線送信する場合は、受信側の機器が対応している vCard のバージョンを確認のうえ、送信時に同じバージョンを選択してください。

手書きメモ

「手書きメモ」に貼り付けた動画ファイルを受信できない

▶ 「手書きメモ」に貼り付けられた動画ファイルは、記録メディアに保存されています。動画ファイルを他のクリエから受信する場合は、その動画ファイルが保存されている記録メディアを送信側のクリエに挿入してください。また、受信側のクリエにも "メモリースティック" などの記録メディアを挿入してください。

メモ帳

「メモ帳」にインポートしたメモが 1 つのメモにすべて表示されない

▶ 1 つのメモで扱えるサイズは 32KB までです。インポートしたテキストファイルがこのサイズを超えている場合は、分割して保存されます。

「メモ帳」のデータを正しく送信できない

▶ Palm 標準の「メモ帳」搭載の機器では、一度に 4KB までのデータしか受信できません。4KB 以上の「メモ帳」データを送信する場合は、送信側の「メモ帳」で、[オプション] メニューの[設定]で[送信状態]の▼をタップして、[分割して送る]を選択してください。

Palm 標準の PIM の使いかたがわからない

「PIM」とは "Personal Information Manager" の略で、個人情報管理用のアプリケーションのことです。ここでは、Palm OS 搭載機器に標準で搭載されている「予定表」「アドレス」「To Do（やることリスト）」「メモ帳」についての質問を記載しています。

➡ **CLIE Organizer の PIM 機能について詳しくは、**「基本アプリケーション（CLIE Organizer）の使いかたがわからない」（87 ページ）をご覧ください。

「予定表」の「カレンダー」画面で［今日］をタップしても、今日の日付が表示されない

▶ クリエの日付が正しく設定されていますか？

「環境設定」画面の［日付と時刻］で、今日の日付が正しく表示されているかどうかを確認してください。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：日付／時刻を合わせる」をご覧ください。

入力したデータがアプリケーションで表示されない

▶ 画面の右上にあるカテゴリ表示が、［すべて］になっているかどうかを確認してください。

▶ 「データ保護」画面で［データを表示］に設定されているかどうかを確認してください。

▶ 「To Do」で［表示］をタップして、［完了した項目を表示］が ☑ になっているかどうかを確認してください。

メモを並び替えられない

▶ CLIE Organizer for PC（または CLIE Palm Desktop）ソフトウェアの表示順序の設定は同期されません。

CLIE Organizer for PC（または CLIE Palm Desktop）ソフトウェアでメモを五十音順に並び替えてから HotSync を行っても、クリエの「メモ帳」のメモは「メモ帳の設定」画面の設定に従って表示されます。

クリエの「アドレス」から vCard データが転送できない

▶ クリエの「アドレス」で作成した vCard は「ver.3. ＊」形式のため、CLIE Organizer for PC（または CLIE Palm Desktop）ソフトウェアでは読み込めません。CLIE Organizer for PC（または CLIE Palm Desktop）ソフトウェアにアドレス情報を転送したいときは HotSync で転送してください。

（CLIE Organizer for PC（または CLIE Palm Desktop）ソフトウェアで作成した vCard は、クリエの「アドレス」で読み込むことができます）

クリエ以外の機器との vCard の転送は、vCard のバージョンによってはデータを反映できないことがあります。

お問い合わせ先

Intellisync Lite for Sony CLIE に関して：

http://www.intellisync.co.jp/clie/

ATOK に関して：

http://support.justsystem.co.jp/

クリエ本体と上記以外のアプリケーションに関して：
ネットコミュニケーションカスタマーリンク

電話番号　（0466）30-3080
受付時間　平日　10 時～ 18 時（年末年始は除く）
土、日、祝日は受け付けしておりません。

お電話の前に以下の内容をご用意ください

- **型名／製造番号：**本体後面に記載されています。
- **故障の状態：**できるだけ詳しく
- **購入年月日：**
- **「お客様サポート番号」（16 桁）もしくは「カスタマーID」（13 桁）**
  お買い上げ後、オンラインもしくはソニーカスタマー専用デスク（この冊子の裏表紙に記載）にてカスタマー登録してください。

修理の場合は

- **筆記用具：**修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

使用上のご注意

バッテリ充電についてのご注意

バッテリの充電時間について

- バッテリが完全に空のときは、充電が完了するまでに約 5 時間かかります。
- 充電を行っている間も、本機に入力した情報を見たりすることができます。

フル充電したときの使用時間のめやす

使用時間はご利用環境、ご利用条件および利用するアプリケーションによって異なります。

➡ **詳しくは、**97 ページからの「主な仕様」をご覧ください。

バッテリを節約するには

- 画面の減光モードを「入」にして使用します。
  ➡ **減光モードの切り換えについて詳しくは、**「POWER/HOLD スイッチについて」（103 ページ）をご覧ください。
- 一定の時間放置すると自動的に電源が切れる［自動オフまでの時間］の設定時間を短くします。
  ➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：自動電源オフまでの時間を設定する」をご覧ください。

周辺機器ご使用時のご注意

周辺機器を使用中に「充電池の電力低下」の警告が表示された場合は、すみやかにご使用を中止してクリエを充電してください。そのまま使用し続けると自動的に電源が切れ、充電するまで使用できなくなります。

バッテリ残量が少なくなると

- バッテリの残量が少なくなると、クリエの画面に電力低下を示す警告メッセージが表示され、記録メディアの操作や画面の明るさの調整ができなくなります。HotSync を実行して本機内のデータやアプリケーションをパソコンにバックアップしてください。
- POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドしても電源が入らないときには、すぐに充電を開始してください。
- 充電量とバッテリ残量表示は必ずしも一致しません。余裕を持って充電するようにしてください。
- バッテリは交換する必要はありません。バッテリ残量が 0 になった場合は、すみやかに充電を開始してください。絶対に本機を分解してバッテリを取り出したりしないでください。

バッテリ残量が 0 のまま放置しないでください

バッテリ残量が 0 の状態（画面のバッテリ残量表示が の状態）が続くと、本機内のデータが消去されます。本機はこまめに充電してお使いになることをおすすめします。

その他

長時間電源を入れたままにしておくと、本体があたたかくなりますが故障ではありません。

次のページにつづく

本体を廃棄するときは

本機で使用している電池は、リサイクルができるリチウムイオン充電池です。本体を廃棄する場合は、地方自治体の条例に定められた方法に従って処理していただくとともに、電池のリサイクル処理をお願いいたします。

➡ **詳しくは、**別紙「安全のために」の「リチウムイオン電池のリサイクルについて」をご覧ください。

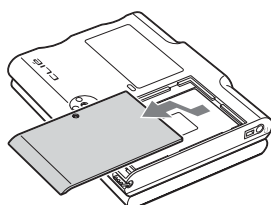
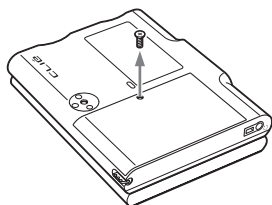
充電池を廃棄するには

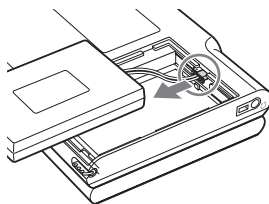
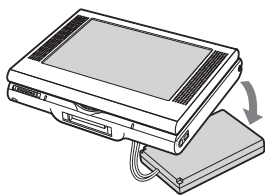
本体を廃棄する場合は、下記の手順に従って充電池を取りはずしてください。
電池の交換はネットコミュニケーションカスタマーリンクへお申し出ください。
電池交換の場合は、電池を取りはずしておく必要はありません。

ご注意

本体を廃棄する場合以外は、充電池を取りはずさないでください。

1 プラス（＋）ドライバーで、本機の後面中央にあるネジをはずす。

2 電池カバーをスライドさせて取りはずす。

3 本体を裏返し、充電池を取り出す。
※充電池が取れにくいときは、軽く振動を加えてください。

4 充電池に付いているコードを引っぱりながら、プラグを抜き取る。

取りはずした充電池は、傷つけたりしないよう注意してお取り扱いください。

記録メディアについて

本機ではクリエ本体のメモリとは別に、下記の 3 種類の記録メディアにデータやアプリケーションを保存することができます。

- **内蔵メディア**
  クリエ本体のメモリとは別の拡張メモリ領域（バッテリがなくなってもデータが消えないメモリ）として「内蔵メディア」を搭載しています。
- **"メモリースティック"（別売り）**
- **CF メモリーカード（別売り）**

➡ **記録メディアの使いかたについて詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「"メモリースティック"などの記録メディアを使う」をご覧ください。

ご注意

- お使いの CF メモリーカードの種類によっては、本機で動作が不安定もしくは対応できないものがあります。
  ➡ **対応している CF メモリーカードについて詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。
- CF スロット用ハードディスクドライブは使用できません。万一使用した場合、データの消失や故障の原因となります。
- 2GB を超える容量の"メモリースティック"および CF メモリーカードは使用できません。
- CF メモリーカードをお使いになるときは、まず本機でフォーマットしてからお使いいただくことをおすすめします。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 3 か月間です。カスタマー登録していただいたお客様は 1 年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この冊子や付属のマニュアルをもう 1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)へご連絡ください

ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)については、添付の「クリエ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではクリエの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは添付の「クリエサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出す前に、記録媒体のプログラムおよびデータは、HotSync などでお客様にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の修理により、本体および“メモリースティック”内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではクリエの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ネットコミュニケーションカスタマーリンク(クリエ専用サポートセンター)にご相談ください。

主な仕様

本体

OS
日本語版 Palm OS® 5 (Ver. 5.2)

CPU
ソニー Handheld Engine

メモリ
RAM
64M バイト
（ユーザー使用可能領域：
約 40M バイト）
内蔵メディア
ユーザー使用可能領域：
約 95M バイト

インターフェース
インターフェースコネクタ
赤外線（IrDA（1.2））
ワイヤレス LAN（IEEE802.11b）
“メモリースティック”スロット
コンパクトフラッシュ カードスロット
（Type II）
リモコンジャック
ステレオミニジャック

ディスプレイ
カラー有機 EL ディスプレイ、
480 × 320 ドット、65,536 色表示

その他の機能
ステレオスピーカー
ディスクジョグ
BACK ボタン
データ活用ボタン
アプリケーションボタン
POWER LED
WLAN（ワイヤレス LAN）LED
“メモリースティック”ランプ

外形寸法（最大突起含まず）
約 109.0 × 87.0 × 23.0 mm
（キャリングケースを取りはずした場合）

質量
本体 約 270 g
（付属スタイラス含む）

推奨動作温度
5℃ ～ 35℃

電源
付属 AC パワーアダプター：
DC5.2V（専用コネクタ）
（付属電源コードは AC100V 用）
バッテリ：
内蔵型リチウムイオンポリマー充電池

電池持続時間
PIM 動作時：
約 18 日
（減光モードオンで、1 日 30 分間、「予定表」など PIM アプリケーションを使用した場合）
約 12 日
（減光モードオフ * で、1 日 30 分間、「予定表」など PIM アプリケーションを使用した場合）
オーディオ連続再生時：
約 42 時間
（POWER/HOLD スイッチを HOLD 状態にして、音楽を再生した場合）

次のページにつづく

動画連続再生時：
約 12 時間
（減光モードオンで、動画を再生した場合）
約 4 時間
（減光モードオフ * で、動画を再生した場合）
連続データ通信時（ワイヤレス LAN 機能使用時）：
約 14 時間
（減光モードオンで、連続通信した場合）
約 3 時間
（減光モードオフ * で、連続通信した場合）
連続データ通信時（AH-S405C 使用時）：
約 14 時間
（減光モードオンで、連続通信した場合）
約 3 時間
（減光モードオフ * で、連続通信した場合）

※使用温度、使用状態により電池持続時間は異なります。
* 減光モードオフの場合、画面の明るさは最大輝度の状態です。

外部記録メディアへの対応

"メモリースティック"*
（"メモリースティック PRO"、"メモリースティック デュオ"、"メモリースティック PRO デュオ"を含む）、
CF メモリーカード **

* ATRAC3 再生は、マジックゲート機能付き"メモリースティック"および"メモリースティック デュオ"にて対応、"メモリースティック PRO" および"メモリースティック PRO デュオ" は対応しません。
** 本機に対応の CF メモリーカードに関する情報は、ネットコミュニケーションカスタマーリンク（http://www.nccl.sony.co.jp/）の機種ごとのサポート情報をご覧ください。

カードスロット機能

DDI ポケット「AH-S405C」対応

動画再生機能

再生フォーマット

CLIE MP4 形式（MP4 準拠）*1
QuickTime 形式 *2
MPEG ムービー（MPEG-1）*3

*1 本機に付属の「Image Converter 2 for CLIE MP4」で変換された MP4 準拠の動画ファイルのみ再生可能。
*2 モバイルムービー機器向けの動画ファイルのみ再生可能。
*3 MPEG ムービーVX など、一部の形式は再生できない場合があります。

ファイル画像サイズ

CLIE MP4 形式の場合：
768Kbps: 320 x 240 ドット、30fps
384Kbps: 320 x 240 ドット、15fps
192Kbps: 320 x 240 ドット、15fps
96Kbps: 160 x 112 ドット、15fps

画像表示サイズ

（「Media Launcher」での再生時に、本機ディスプレイ上で）
426 x 320 ドット、320 x 240 ドット、160 x 112 ドット

オーディオ再生機能

再生フォーマット

ATRAC3
44.1KHz、最大 132Kbps
MP3（MPEG-1 AudioLayer 3）
44.1KHz、32Kbps ～ 320Kbps

再生周波数帯域

20 Hz ～ 20,000 Hz

静止画再生機能

再生フォーマット

JPEG（DCF）形式

画像表示サイズ

（「Media Launcher」での再生時に、本機ディスプレイ上で）
480 x 320 ドット、240 x 320 ドット、160 x 120 ドット

内蔵ワイヤレス LAN 機能

準拠規格

IEEE802.11b

使用周波数帯

2.4GHz 帯（1 ～ 11ch、ISM バンド）

WEP（データの暗号化）

64、128 ビット *

変調方式

DS-SS（IEEE802.11b 準拠）

* 入力できるキーの長さは、64 ビット時は 40 ビット（半角英数字 5 文字）、128 ビット時は 104 ビット（半角英数字 13 文字）です。

パソコンに必要なシステム構成

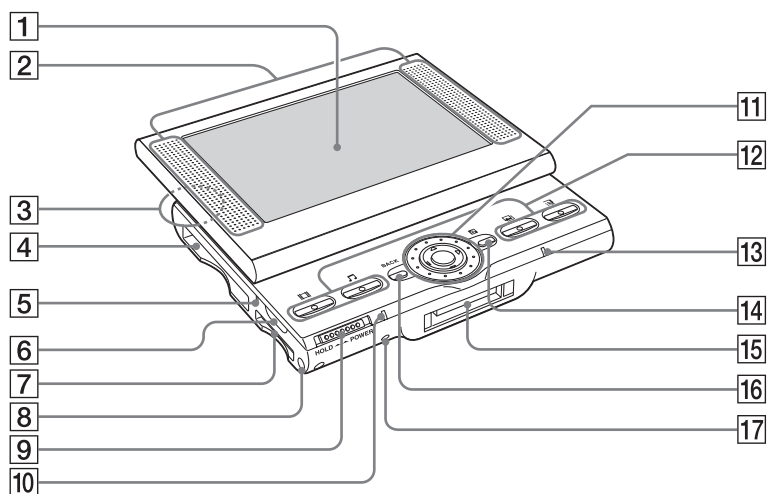
CLIE Palm Desktop ソフトウェアおよび、付属のインストール CD-ROM に収録されているソフトウェアを使うには、以下のシステムのパソコンが必要です。

- OS：Microsoft Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows 2000 Professional
- CPU：Pentium Ⅱ 400MHz 以上（Pentium Ⅲ 500MHz 以上推奨）
- RAM：96MB 以上（128MB 以上推奨、ただし Windows XP の場合は 256MB 以上推奨）
- ハードディスクドライブ：200MB 以上（350MB 以上推奨）
- ディスプレイ：High Color 以上、800 × 600 ドット以上を推奨
- CD-ROM ドライブ
- USB 端子
- マウスかトラックパッドなどのポインティングデバイス

仕様および外観は、改良の為予告なく変更することがありますがご了承ください。

各部のなまえとはたらき

本体や主な付属品の各部のなまえとはたらきを説明しています。

前面

1 **画面**
（108 ページ）

2 **ステレオスピーカー**

3 **アンテナ内蔵部**
ワイヤレス LAN 機能用のアンテナが内蔵されています。

4 **CF カードスロット**
（105 ページ）
コンパクトフラッシュ型のデータ通信カードや CF メモリーカードを入れます。
CF カードへのファイル／データの書き込み中／読み出し中や通信中であることを示すランプはありません。

5 **“メモリースティック”ランプ**
（104 ページ）
“メモリースティック”に読み書きしているときに、オレンジ色に点滅します。

6 **赤外線通信ポート**
（107 ページ）
赤外線で他のクリエや Palm OS 搭載機器とデータをやりとりできます。

7 **“メモリースティック”スロット**
（104 ページ）
“メモリースティック”を入れます。

8 **ハンドストラップホルダー**

9 **POWER/HOLD スイッチ**
（13、103 ページ）
電源の入／切や画面の減光モードの入／切を切り換えたり、本機を HOLD 状態にすることができます。

10 **POWER LED**
（11 ページ）
電源を入れると点灯／点滅します。
点灯／点滅する色で、本機の状態を知らせます。

緑色で点灯：
電源が入っています。
（HOLD 状態でも点灯します）

緑色で点滅：
HOLD 状態でアプリケーションボタンなどの操作を行うと点滅します。

オレンジ色で点灯：
充電中です。

オレンジ色で点滅：
「予定表」などでアラーム機能を使っているときに、アラーム時刻になったことをお知らせします。

緑色またはオレンジ色でゆっくり点滅：
スクリーンオフ機能（28 ページ）の作動中です。（緑色：動作中、
オレンジ色：充電中）

消灯：
電源が切れています。

11 **ディスクジョグ**
（32 ページ）
ジョグ、上下左右ボタン：
アプリケーションや項目を選択します。また、アプリケーションによっては独自の機能が割り当てられています。
決定ボタン：
選択した項目を実行します。

次のページにつづく

12 **アプリケーションボタン**
（34 ページ）
電源を入れていなくても、アプリケーションボタンを押すと、それぞれのアプリケーションが起動します。

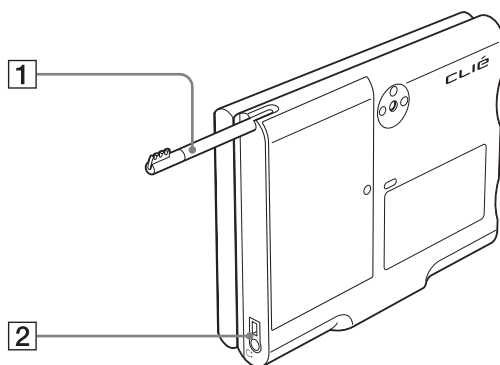
13 **WLAN（ワイヤレス LAN）LED**
ワイヤレス LAN 機能を使用中に点灯します。

14 **データ活用ボタン**
（40 ページ）
データ活用のメニューを表示します。

15 **インターフェースコネクタ**
（12 ページ）
クレードルまたは付属のプラグアダプターを接続します。

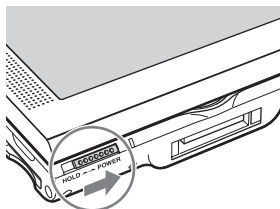
16 **BACK ボタン**
項目を選択解除したり、操作を取り消します。
また、アプリケーションによっては、前の画面に戻るなどの独自の機能が割り当てられています。

17 **RESET ボタン**
（64、65 ページ）
本機を再起動するときに押します。

後面

1 **スタイラス**
（13 ページ）
画面を直接さわって操作するためのペンです。

2 **ヘッドホン／リモコンジャック**
付属のオーディオリモコンまたは市販の φ3.5mm ステレオミニプラグ用ヘッドホンを取り付けてご使用できます。

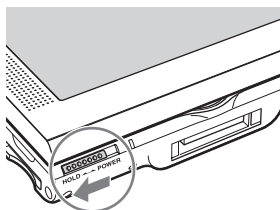
POWER/HOLD スイッチについて

▶ 電源を入／切するには

POWER/HOLD スイッチ

POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせる
（指を離すと、中央の位置に戻ります）
電源が入り、前回電源を切るときに表示されていた画面が表示されます。電源が入っているときは、POWER LED が緑色で点灯します。
電源を切るときも、POWER/HOLD スイッチを POWER 方向にスライドさせます。

▶ 画面の減光モードを切り換えるには

減光モードを「入」にする（暗くする）には、POWER/HOLD スイッチを POWER 方向に 2 秒以上スライドさせます。
減光モードを「切」にする（画面の明るさを元の設定に戻す）には、もう 1 度 POWER/HOLD スイッチを POWER 方向に 2 秒以上スライドさせます。

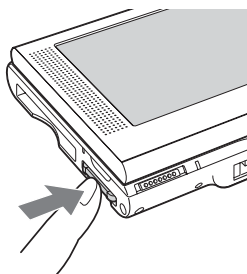
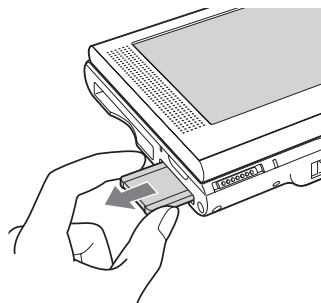
▶HOLD 状態を入／切するには

POWER/HOLD スイッチを HOLD 方向にスライドさせる
誤ってボタンが押されたり、画面がタップされることを防ぎます。HOLD 状態にすると、本機が動作中でも画面が消えます。
POWER/HOLD スイッチを中央の位置に戻すと、HOLD 状態が解除されます。

“メモリースティック”を入れる／取り出す

■“メモリースティック”を入れる

ご注意

“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、スロットが破損するおそれがあります。

■“メモリースティック”を取り出す

“メモリースティック”を押し込む

“メモリースティック”を引き抜く

ご注意

“メモリースティック”へのファイル／データの書き込みや読み出しを行っていないこと（“メモリースティック”ランプが点滅していないこと）を確認してから“メモリースティック”を押し込んでください。“メモリースティック”ランプが点滅中に“メモリースティック”を取り出した場合、記録されたファイル／データが消えたり壊れたりすることがあります。

➡**“メモリースティック”の使い方について詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「“メモリースティック”などの記録メディアを使う」をご覧ください。

CF カードを入れる／取り出す

本機で使える CF カードについて

- 本機の CF カードスロットは、コンパクトフラッシュ型カード専用です。その他の通信カードやメモリーカードのご使用は故障の原因となりますのでおやめください。
  特に CF カードスロットの内部に入る部分が特殊な形状の CF カードを挿入すると、CF カードスロットの故障の主な原因になりますのでおやめください。
- 本体の動作が不安定になった場合は、電源を切ってから CF カードを取りはずし、再度 CF カードを入れてください。

CF 通信カードの対応について

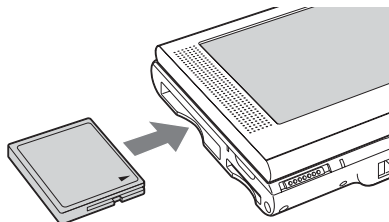
- お使いの CF 通信カードおよびプロバイダによっては、ご利用になれないデータ通信サービスがありますのでご注意ください。詳しくはお使いの CF 通信カードの取扱説明書をご覧になるか、プロバイダへお問い合わせください。
- 本機で対応している CF 通信カードは、AirH″ カード「AH-S405C」（セイコーインスツルメンツ株式会社製）のみとなります。（2004 年 9 月現在）

CF メモリーカードの対応について

➡**対応している CF メモリーカードについて詳しくは、**ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。ネットコミュニケーションカスタマーリンクについては、この冊子の裏表紙をご覧ください。

CF カードには通常、裏面端部に小さな張り出しまたはくぼみがあり、取り出しやすいようになっています。
しかし、本機に対応の CF カードの中には、裏面端部にそのような張り出しやくぼみがないものもあり、このようなカードをご使用になると、取り出しが困難になるおそれがあります。本機の CF スロットに挿入する前に CF カードの形状をお確かめになり、取り出しが困難になりそうなカードはご使用をお控えいただくか、あらかじめカードに引き出し用のテープを貼るなどしてからお使いください。
カードの取り出しが困難な場合は、ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。

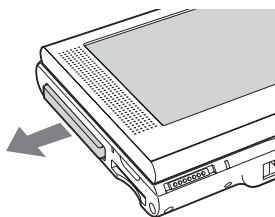
➡**CF メモリーカードに対応している付属のアプリケーションについて詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

次のページにつづく

■CF カードを入れる

ご注意

- お買い上げ時は、CF カードスロットにダミーカードが挿入されています。
- CF カードを入れるときは、間違った向きや角度で無理な力を加えないでください。本機および CF カードが故障するおそれがあります。

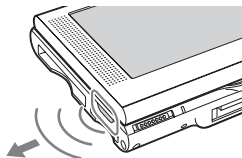
■CF カードを取り出す

必ず本機の電源を切ってから、CF カードを取り出してください。
CF カードへのファイル／データの書き込み中／読み出し中や通信中であることを示すランプはありません。

ご注意

- CF カードへのファイル／データの書き込み中／読み出し中や通信中に、CF カードを取り出した場合、記録されたファイル／データが消えたり壊れたりすることがあります。また、本機および CF カードが故障するおそれがあります。
  CF カードを取り出すときは、クリエの電源を切ってから取り出してください。
- CF カードを取り出すときは、間違った向きや角度で無理な力を加えないでください。本機および CF カードが故障するおそれがあります。
- CF カードの種類によっては、取りはずしの動作が固いものがありますので、充分にご注意ください。
- CF カードが入っていないときは、CF カードスロット保護のため、必ずダミーカードを挿入してください。

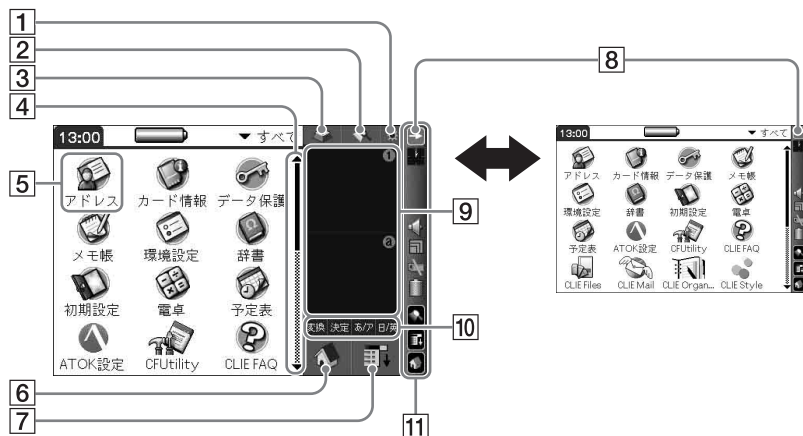
赤外線通信ポート

赤外線で別のクリエや他社製の Palm OS 搭載機器とデータやアプリケーションをやりとりできます。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「赤外線通信機能を使う」をご覧ください。

※最適な通信位置は、少しずつ向きを変えてお試しください。

画面の見かた

ヒント

「Media Launcher」画面が表示されているときは、Application アイコンをタップしてください。

1 明るさ調整／色調整アイコン
画面の明るさや色を調整できます。
（113 ページ）

2 検索アイコン
タップすると「検索」画面が表示されます。

3 スクリーンキーボードアイコン
「予定表」などのアプリケーションを起動中にタップすると、スクリーンキーボードが表示されます。

4 スクロールバー

5 アプリケーションアイコン
（31 ページ）
アプリケーションを起動します。

6 ホームアイコン
タップすると、ホーム画面が表示されます。

7 メニューアイコン
タップすると、現在のアプリケーションのメニューが表示されます。

8 リサイズアイコン
シルクスクリーン領域の表示／非表示を切り換えます。

9 Graffiti 2 入力エリア
Graffiti 2 文字で手書き入力するための領域です。
ここからデクマ手書き入力の画面を表示させることもできます。

➡ **詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエで文字を入力する：デクマ手書き入力で文字を入力する」をご覧ください。

10 文字入力アイコン
（113 ページ）

11 ステータスバー
（109 ページ）

Graffiti 2 ／ソフトウェアキーボード切り換えアイコン（CLIE Organizer 使用時のみ）

タップすると Graffiti 2 入力エリアとソフトウェアキーボードが切り換わります。
ソフトウェアキーボードの操作方法はスクリーンキーボードと同じですが、スクリーンキーボードのように有効画面を狭くせずにアプリケーションが使えます。

ヒント

ソフトウェアキーボードの表示を切り換えるには

以下のアイコンをタップして、キーボードの表示を切り換えることができます。

abc：アルファベットを表示します。

かな：ひらがなを表示します。

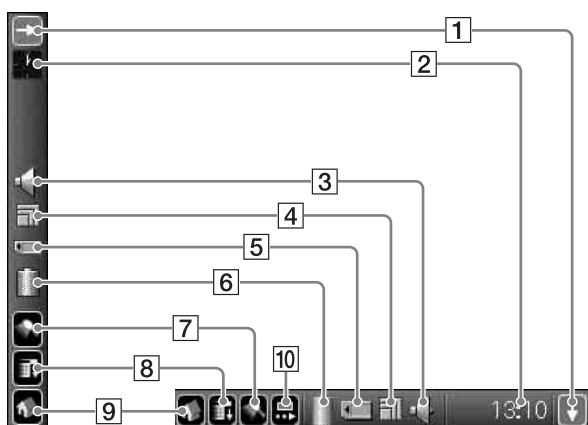
カナ：カタカナを表示します。

記号：記号を表示します。

コード：コード表を表示します。

ご注意

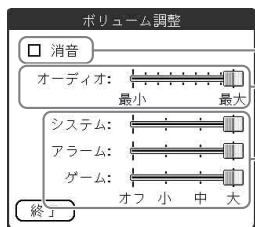
CLIE Organizer 使用時に設定した Graffiti 2 入力画面とソフトウェアキーボードの切り換えは、CLIE Organizer 以外には反映されません。ソフトウェアキーボードを表示するように設定していても、CLIE Organizer 以外の画面に切り換えると自動的に Graffiti 2 入力画面に変更されます。

ステータスバー

次のアイコンが常に表示されます。その他に、アプリケーションに応じて独自の機能のアイコンが表示されます。

次のページにつづく

1 タップするとシルクスクリーン領域の表示／非表示が切り換わります。

2 （CLIE Organizer 使用時は 13:10）
時刻を表示します。
表示の書式は、「環境設定」–［書式］の［時刻］で変更します。
➡**詳しくは、**別冊「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：日時／数値などの表示書式を設定する」をご覧ください。

3 タップすると「ボリューム調整」画面を表示します。

1 ［消音］の □ を ☑ にすると、ボリュームの設定にかかわらず消音になります。消音中はステータスバーに アイコンが表示されます。

2 音声や動画などの再生に反映されます。

3 それぞれ、「環境設定」–［一般］の［システム音］、［アラーム音］、［ゲーム音］の設定に反映されます。

➡**詳しくは、**パソコンで見るマニュアル「クリエ読本」の「クリエの設定を変更する（環境設定）：各種の操作音の設定を変更する」をご覧ください。

4 ワイヤレス LAN 機能を使用してネットワークに接続しているときの電波の強さを表示します。
タップすると「ワイヤレス情報」画面が表示されます。

1 **電界強示アイコン**
ワイヤレス LAN 機能で接続しているときの電波の強さによって、以下のように表示されます。
：電源オフ
：1 ～ 35%
：36 ～ 70%
：71 ～ 100%

2 **SSID**
接続しているワイヤレス LAN アクセスポイントの SSID が表示されます。

5 本機に挿入している“メモリースティック”や CF カードの状態を表示します。

:“メモリースティック”が入っています

:“メモリースティック”が入っていません

:“メモリースティック”が書き込み禁止になっています

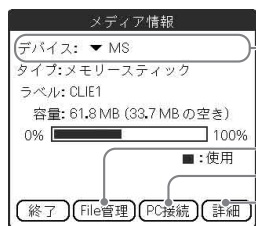
:“メモリースティック”が正常に認識されていません

:“メモリースティック”型周辺機器が入っています

:CF カードが入っています

:CF カードと“メモリースティック”が入っています

:CF カードが正常に認識されていません

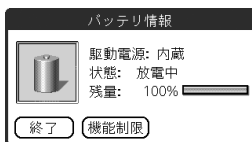
なお、“メモリースティック”や CF カードを本機に挿入した直後は、それらの記録メディアを認識するまでアイコンが表示されます。
また、上記のアイコンをタップすると「メディア情報」画面が表示されます。

1 デバイスの種類（▼のリストから他のデバイスを選択することもできます）

2 タップすると「CLIE Files」が起動します。

3 タップすると「Data Import」が起動します。

4 タップすると「デバイスの詳細」画面が表示され、デバイスやドライバの情報を見ることができます。

「メディア情報」画面を表示しているとき、メニューアイコンをタップして[オプション]メニューの「設定」画面で、“メモリースティック”や CF カード挿入時のクリエ本体の動作を設定することができます。

6 バッテリ残量を表示します。充電中はアイコンが表示されます。
タップすると「バッテリ情報」画面が表示されます。

駆動電源：使用している電源
状態：バッテリの状態
残量：バッテリのおおよその残量
（充電中は ---%と表示されます）

[機能制限]をタップすると、「バッテリ残量による機能制限」画面が表示されます。

次のページにつづく

7	タップすると「検索」画面を表示します。
8	タップするとメニューを表示します。
9	タップするとホーム画面を表示します。
10	（CLIE Organizer 使用時のみ） タップすると「シルクプラグイン」画面を表示します。 シルクプラグインを切り換えることにより、シルクスクリーン領域の表示と機能を変更することができます。 お買い上げ時は、「標準入力（Graffiti 2 およびソフトウェアキーボード）」と「デクマ手書き入力（Decuma Japanese）」がインストールされています。

ヒント

- ステータスバーを左から右にドラッグして、シルクプラグインを切り換えることもできます。
- 「シルクプラグイン」画面を表示すると、画面右上に（i）アイコンが表示されます。タップすると「シルクプラグインヘルプ」画面が表示されます。

ご注意

CLIE Organizer 使用時に設定した Graffiti 2 入力画面とデクマ手書き入力画面の切り換えは、CLIE Organizer 以外には反映されません。デクマ手書き入力画面を表示するように設定していても、CLIE Organizer 以外の画面に切り換えると自動的に Graffiti 2 入力画面に変更されます。

文字入力アイコン

文字入力時に使用します。

変換 :漢字に変換します。

決定 :表示されている変換候補を確定します。

あ/ア :ひらがな入力とカタカナ入力を切り換えます。

日/英 :日本語入力モードの入/切を切り換えます。

明るさ調整/色調整アイコン

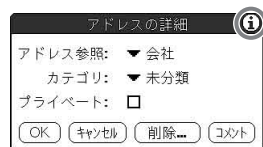
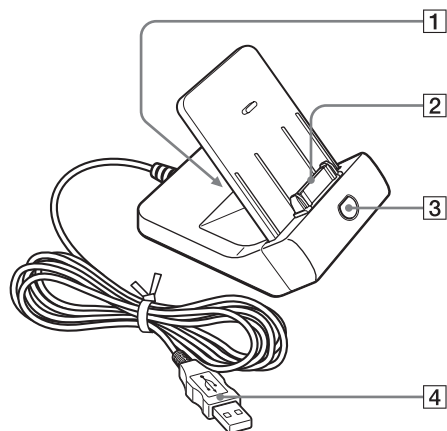
明るさ調整アイコンをタップすると、「明るさの調整」画面が表示されます。

1 画面の明るさを調整できます。

2 タップすると「色調整」画面が表示され、スライダを操作して画面の色味を調整できます。

ヒント

操作中に下のような画面が表示されたときは

ⓘアイコンをタップするとヒントが表示されます。

クレードル

1 **AC パワーアダプター接続コネクタ**
（11 ページ）

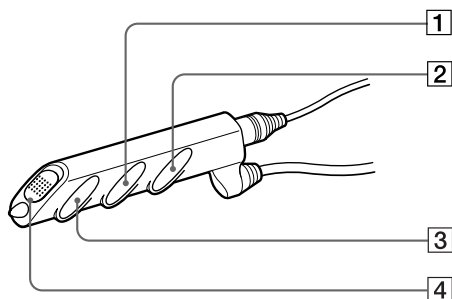
2 **インターフェースコネクタ**

3 **HotSync（ホットシンク）ボタン**
（23 ページ）

4 **USB コネクタ**
（22 ページ）

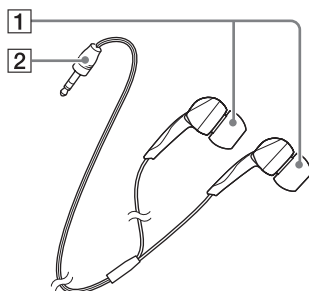
オーディオリモコン

「Media Launcher Movie/Music」などで、音楽や音声付き動画を再生するときに使います。

➡ **アプリケーションごとの操作について詳しくは、**パソコンで見る「クリエ アプリケーションマニュアル」をご覧ください。

1 **⏮/⏭ ボタン**

2 **音量調節ボタン**

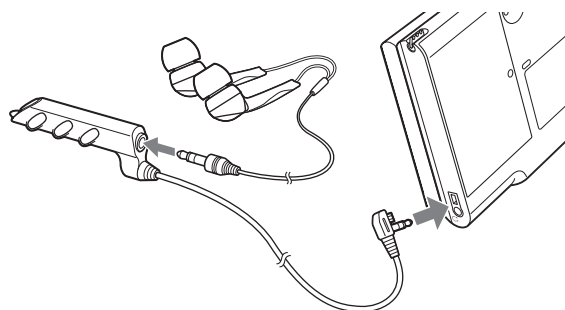
3 **►/■ ボタン**

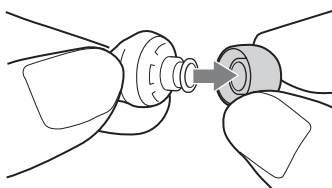
4 **HOLD（ホールド）スイッチ**

ヘッドホン

1 イヤーピース

2 ステレオミニプラグ

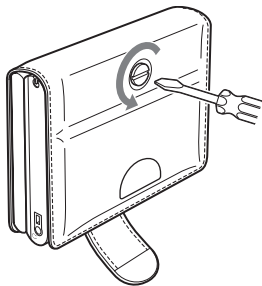
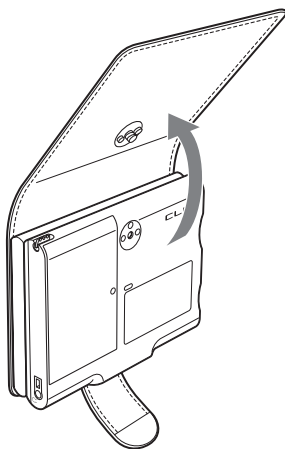
付属のオーディオリモコンとヘッドホンの取り付けかた

図のようにして、付属のオーディオリモコンと密閉型インナーイヤーヘッドホンを本機に取り付けます。

イヤーピースの交換について

お買い上げ時には M サイズが装着されています。サイズが耳にあわないと感じたときは、付属の L サイズや S サイズに交換してください。

キャリングケース

本機のキャリングケースは以下の方法で取りはずすことができます。

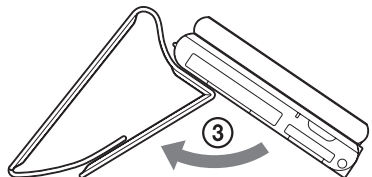
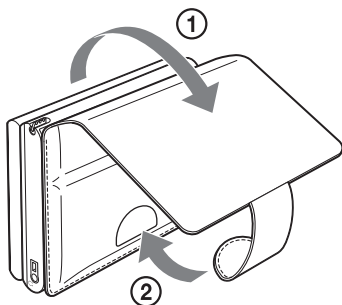
キャリングケースの取りはずしかた

1 **マイナス（ー）ドライバーや硬貨などで、本体後面のネジをゆるめる。**

2 **キャリングケースを取りはずす。**

ヒント

キャリングケースを使って、簡易スタンドとして本機を立てかけることもできます。

① キャリングケースケースを後面に折り返す。

② マジックテープ部をキャリングケース後面に付ける。

③ キャリングケースの下側を起こす。

本機を深く傾けた状態で置くことができます。

ご注意

本機を立てかけた状態のままで、ボタン操作や画面のタップなどの操作を行わないでください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

アルファベット順

A

C

D

G

H

I

M

N

P

S

T

- Sony、SONY、クリエ、CLIÉ、"Memory Stick"("メモリースティック")、MEMORY STICK™、"Memory Stick Duo"("メモリースティック　デュオ")、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO"("メモリースティック PRO")、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick PRO Duo"("メモリースティック PRO　デュオ")、MEMORY STICK PRO DUO、"MagicGate"("マジックゲート")、MAGICGATE、はソニー株式会社の商標です。
- ディスクジョグはソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- Palm、Palm Powered、Palm のロゴ、Palm Powered のロゴ、および Palm OS、Graffiti、HotSync、HotSync のロゴは、PalmSource, Inc. の商標です。
- Graffiti 2 は Jot® の技術を使用して開発されました。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentium は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ATOK「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- Decuma(デクマ)は Decuma AB の商標です。
- 本機で使用している一部のフォントの著作権は、株式会社タイプバンクに帰属します。
- Adobe® および Adobe®Reader® は Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。
- Intellisync は米国 Pumatech,Inc. の米国、およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
- コンパクトフラッシュ(CompactFlash)および CF は米国サンディスク社の商標です。
- The software library incorporated in CLIE handheld is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- NetFront は、株式会社 ACCESS の日本ならびにその他の国における登録商標です。
- Picsel および Picsel ロゴは、Picsel 社の商標です。
- AirH" は DDI ポケットの登録商標です。
-

QuickTime and the QuickTime logo are trademarks or registered trademarks of Apple Computer, Inc., used under license.
The QuickTime File Format is used in this product under license from Apple Computer, Inc. and is copyrighted by Apple Computer, Inc. 2004. All Rights Reserved.
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

本製品のソフトウェアをお使いになる前に、必ず付属のソフトウェア使用許諾書をお読みください。
付属の「ATOK」をお使いになる前に、必ずパソコンで見るマニュアル「クリエ読本」巻末に記載されている「ATOK 使用許諾契約書」をお読みください。

□ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□ 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
□ 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
□ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
□ 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。

最新サポート情報は

クリエ本体とクリエ用周辺機器、および付属のソフトウェアに関する最新情報は、
ネットコミュニケーションカスタマーリンクの機種ごとのサポート情報をご覧ください。
また、クリエ用周辺機器をお使いになる場合は、下記サイトのダウンロードページから
最新のソフトウェアを入手してください。

ネットコミュニケーションカスタマーリンク

● http://www.nccl.sony.co.jp/ ➡ 機種ごとのサポート情報へ

付属のご案内もあわせてご覧ください。
「クリエ サービス・サポートのご案内」

クリエのさらに楽しい使いかたは

下記のホームページをご覧ください。

● http://www.sony.co.jp/CLIE/

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

使いかたのご相談、技術的なお問い合わせは

ネットコミュニケーションカスタマーリンクへ

● 0466-30-3080

受付時間　平日　10時〜18時（年末年始は除く）
土、日、祝日は受け付けしておりません

カスタマー登録、一般的なお問い合わせは

ソニーカスタマー専用デスクへ

● 0466-38-1410

お電話の前に、必ず付属の「クリエ サービス･サポートのご案内」をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/